

個別演習の目次

経済学科

井上(貴) ……	1	大野 ……	3	ラナデ ……	4	佐藤 ……	5
久松 ……	6	姚 ……	7	横山 ……	8	岡田 ……	9
沖 ……	11	星野 ……	12	藤原 ……	13	持田 ……	14
宮崎 ……	15						

経営システム学科

藤村 ……	16	井上(善) ……	17	朴(鏡) ……	18	安井 ……	19
古川 ……	20	青木 ……	21	宮脇 ……	22	繁本 ……	23
松岡 ……	24	松岡・小宮 ……	25	向 ……	27	嘉本 ……	28
趙 ……	29	張 ……	30	大杉 ……	31		

地域社会システム学科

大賀 ……	32	斉藤 ……	33	高橋(明) ……	34	水野 ……	35
原 ……	36	原・金 ……	38	園部 ……	39	金澤 ……	41
山本 ……	42	西成 ……	44				

ナンバリングコード B4ECN-bcxE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 314115) 個別演習 (井上貴) Special Seminar 国際経済の現状分析	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bcxE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 井上 貴照	関連授業科目	国際経済学A・B、経済政策A・B、社会政策A・B、 財政学A・B、公共経済学 I・II、金融論 I・II、金融政策論 I・II	
	履修推奨科目	ミクロ経済学 I・II、マクロ経済学 I・II	
学習時間 個別演習90分×15回+自学自習			
授業の概要 前期は、演習に引き続き、テキストを輪読することにより、国際経済の現状とそれを理解するための国際経済学の基礎理論を学修します。今年度は、国際マクロ経済学について学修します。後期は、3年次終了時に決めた研究テーマの研究報告をおこない卒業論文を作成します。 ゼミのモットー： 学びは真剣、遊びは全力			
授業の目的 1. 国際経済の現状を知る。 2. 国際経済の現状を理解するための国際経済学の基礎理論を理解する。 3. Presenterによる報告内容を中心に議論することにより、専門知識の修得のみならず論理的思考力や文章および口頭による表現力を養成する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 国際経済の現状についての知識を得ることができる。 2. 国際経済の現状を理解するための基礎理論を修得できる。 3. 国際経済に関する諸問題を経済学的に解明できるようになる。 4. 論理的思考力や文章および口頭による表現力を身につけることができる。 5. 卒業論文の研究報告の内容についての質疑応答により、より広い視点から、より深く考えることができるようになる。			
成績評価の方法と基準 1. 個別演習単位認定方法 ゼミの方針を含む個別演習の選考基準を満たすようにゼミナールを履修していたかどうかによって認定します。 2. 卒業論文の作成要領と単位認定方針 20,000字以上とします。作成要領は、適当な時期に説明します。研究テーマに関する基本文献の理解度、論理展開、分析の深さ、独創性等の観点から評価し単位を認定します。研究テーマは、演習の研究題目に限定される必要はありません。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1. 個別演習選考基準 以下の項目について面接により総合的に判断して選考します。 [1] 演習選考基準 (1) 論理的な考え方ができるようになりたい人 (2) 自分の意見を表明できるようになりたい人 (3) 異なった価値観や文化をもつ人々と相互に理解できるようになりたい人 (4) ユーモアに興味があり、協調性のある人 (5) サークル活動やアルバイトよりもゼミ行事を含むゼミ活動を優先することを約束できる人 [2] 演習における受講態度 [3] 個別演習への参加意欲			
2. 授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業計画】 前期：演習に引き続き、テキストを輪読します。 後期：3年次終了時に決めた研究テーマの研究報告とその内容について質疑応答を行い、卒業論文を作成します。			

【授業の方法】

Presenterの報告内容について、presenterへ質問したり、お互いに意見や感想を述べたりします。このようにゼミナールでは、ゼミナール参加者が人前で自分の考えや感想を交換しあうことにより、知識の修得だけでなく、文章と口頭による表現力の向上を目指します。

【自学自習に関するアドバイス】

(1)前期は、テキストを輪読するので、予習と復習に努めて下さい。履修者が予習・復習することを前提に授業が組み立てられています。

(2)授業内容は連続しているので欠席すると理解できなくなることを心に留めておいて下さい。

(3)後期では、卒業論文の研究報告を行い、その内容について質疑応答ができるように努めて下さい。

教科書・参考書等

1. 教科書：(1)浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸(2011)『はじめて学ぶ国際経済』（有斐閣アルマ）
(2)配付資料
2. 参考書：ゼミの時間に紹介します。
3. 卒論作成のための資料：相談に応じます。

オフィスアワー

Tuesday, 13:00-14:30 (左記の時間以外でも時間の許すかぎり質問に応じます。)

研究室：幸町キャンパス南3号館3階北側

できれば、あらかじめ電話かメールで連絡してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

無断欠席は、厳禁です。

ナンバリングコード B4STT-bcdE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 314105) 個別演習 (大野) Special Seminar 統計データ分析	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4STT	DP・提供部局 bcdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 大野 拓行	関連授業科目 経済学、情報処理	情報リテラシー、統計学、計量経済学、マクロ	
	履修推奨科目	経済統計	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 演習で学んできた知識をもとに、統計データ分析による卒業論文を作成します。			
授業の目的 卒業論文の作成を通じて、統計データを用いたレポートが作成できるようになる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> 統計的分析手法を修得する。 統計分析を用いたレポートを作成できるようになる。 論理的な文章が書けるようになる。 			
成績評価の方法と基準 <ul style="list-style-type: none"> 個別演習 個別演習への参加態度と卒業論文への取組み姿勢 卒業論文 内容により単位認定を行なうが、統計データ分析が含まれていることは最低限の要件である。 			
授業計画並びに授業及び学習の方法 <ul style="list-style-type: none"> 選考基準 演習において、卒業論文を作成するために必要な問題意識の糸口が見いだせているかどうかで判断したい。 授業計画並びに授業及び学習の方法 前半はExcelVBAの修得。 後半は個別指導の予定である。 			
教科書・参考書等 特に利用しない。			
オフィスアワー 月曜日12:00～13:00			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 無断欠席3回以上の者は単位を出さない。			

ナンバリングコード B4ECN-bcdE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 314106) 個別演習 (ラナデ) Special Seminar 数理経済学及び応用ミクロ分析 (Mathematical Economics & Applied Microeconomic Analysis)	科目区分 専門教育科目	時間割 前期火5/後期火5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bcdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 ラナデ	関連授業科目	経済学の全て	
	履修推奨科目 履修は望ましい	経済数学、経済数学基礎、ミクロ、マクロなど	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業で学生の卒業論文の指導します。卒業論文のテーマは学生が自分で決めますが毎回そのテーマについて500字の文章を作って発表しなければなりません。できない人に個別演習の単位は出ません。論文は必修ですのでしっかりがんばったら単位は当然です。			
授業の目的 経済学を論理的・数学的に考える。特に応用を学ぶ。卒業論文の作成をする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 周りの経済・社会のミクロlevelの問題を論理的に考えることができる。 2. その問題の応用分析ができる。			
成績評価の方法と基準 講義中の討論の内容によって評価する。まじめに出席して討論に積極的に参加した学生を評価します。なお、個別演習の評価は出席と発表回数で決めますが、卒業論文は内容の深さ及びOriginalityを見て決めます。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
選考基準： 希望者が定員を超えない場合は簡単に受けますが、超えた場合には成績によって選考します。			
授業方法： 板書と討論が授業の中心です。			
前期と後期の授業計画：			
第1回～30回：学生の希望によってテーマを選び、討論します。			
自学実習： Homeworkはしなければなりません。			
教科書・参考書等 とくに決まっていますが、講義中いくつかのテキストの紹介があります。 とくに決まっていますが、講義中いくつかの本の紹介があります。			
オフィスアワー 基本的にいつでもOKですが-18時に研究室にいる可能性が高い。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 出席はvery very importantです。			

ナンバリングコード B4ECN-cabE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314117) 個別演習 (佐藤) Special Seminar 社会政策・労働問題の研究	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 cabE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 佐藤 忍	関連授業科目		
	履修推奨科目 社会政策A・B		
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 社会政策を研究するということは、要するに、私たち自身の生き方を考えるということだ。働きかた、家族のありかた、老いかた、およそ人が生きていくうえで否応なく直面する生活上の諸問題に関わるさまざまな事柄について現状を把握し、問題点を見つけ、あるべき対処について考察するということである。社会問題への感受性を高め、そして自己の生き方を省察し、見つめ直すきっかけとなるであろう。			
授業の目的 自分の興味関心に添ったテーマについて、資料を収集・整理・分析し、説得力のあるプレゼンテーションを経ながら、独創性豊かな卒業論文を作成する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 卒論テーマの設定をつうじて課題設定能力を身につけることができる。 2. 卒論の説得的な論述をつうじて問題解決能力を身につけることができる。 3. ゼミでの発表・討論をつうじてコミュニケーション能力を身につけることができる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 ゼミにおける発表・討論など日頃の研究姿勢に基づき総合的に評価する。 【卒業論文】 各自のテーマに関して、既存の研究水準を適切に摂取・サーベイし、独自の視点から整理統合したものでなければならない。ワープロ使用のこと。A4版上質紙(40字/行×38行/頁)20枚以上を標準とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【個別演習選考基準】 研究題目に対する興味関心を持続させ、それを自らのテーマの設定によって一層深化させ、そして論文にまとめる意志のある人。したがって、研究題目に対する興味関心を喪失した人、あるいは自己のテーマを設定できない人は、履修をお断りすることがある。 【授業の進め方】 各自のテーマについて報告・討論を繰り返しながら、卒業論文を完成させる。			
教科書・参考書等 使用しない。			
オフィスアワー 火曜3時間目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ どのテーマにもいろんな見方・考え方があるといこと、それらの間の相違点と共通点を適切に理解したうえで、自分なりの考え方をどのように展開していけばよいのかということが大事な点です。			

ナンバリングコード B4STT-bcxE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 314107) 個別演習 (久松) Special Seminar 計量経済分析の方法と応用	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4STT	DP・提供部局 bcxE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 久松 博之	関連授業科目	統計学入門, 統計学	
	履修推奨科目	計量経済学Ⅰ, 計量経済学Ⅱ	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 前期は演習で学習した内容をもとに, 各自のテーマにしたがって情報・材料収集とデータの図表化等の作業や統計分析を行う。後期は卒論作成の進捗状況や問題点を報告し, 情報・材料の整理の仕方やデータ分析等について指導する。			
授業の目的 統計分析, 計量経済分析の方法を身につけ, 仮説の現実妥当性を検証できるようになる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
卒業論文を完成させる。			
成績評価の方法と基準 個別演習 出席状況, 受講態度, 卒論研究への取り組み方を見て判断する。 卒業論文 卒論のボリュームの目安は図表含めてA4サイズで30枚以上。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 選考基準 演習への取り組み方を見て判断する。 授業計画並びに授業及び学習の方法 主題文(仮のテーマ, 仮の主題文, キーワード一覧)を作成し, 材料が集まったら構成表(章の構成と材料との関連をまとめた表)を作成する。主題文の作成は演習で行う場合がある。毎週, 卒論作成の進捗状況を報告し指示を与え改訂して卒論を完成させる。			
教科書・参考書等 開講時に指示する。			
オフィスアワー 火曜日4限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 無断欠席をしないこと。			

ナンバリングコード B4ECN-bceE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 314108) 個別演習 (姚) Special Seminar 日中マクロ経済の実証分析	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bceE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 姚 峰	関連授業科目	統計学	
	履修推奨科目	アジア経済論	
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 個別演習の前半では、日中経済に関する卒業論文を作成するため、ゼミ生は各自の関心している課題を中心に新聞記事・研究報告・研究論文などを調べ、ゼミ形式で研究報告を行う。後半では、統計分析手法を用いて、日中経済に関する研究テーマについて研究を行い、卒業論文を完成する。			
授業の目的 経済活動が加速的に国際化しているなか、日中経済の発展状況と問題をより深く理解する。グローバル経済活動に活躍できる人材になるため、豊富な地域経済知識と豊かな人間性を養成する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. アジア経済と社会情勢を客観的に観察し、述べるができる。 2. 統計分析手法を用いてアジア経済問題を解析できる。 3. 国際的な経済活動のなかで最も果たすべき役割と適切な行動を説明できる。			
成績評価の方法と基準 個別演習：出席状況、研究討論の態度などによる総合判定。 卒業論文：卒業論文はワープロによるものとし、図表を含めて2万字以上とする。 出席状況と研究討論の態度などを中心に、卒業論文の完成度を参考するうえ、総合的に判断する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 選考基準：単位の履修状況などにより、総合的に判断する。 授業計画並びに授業及び学習の方法：研究結果のプレゼンテーションを行う。			
第1回 ガイダンス 第2～4回 卒論テーマ選定・報告 第5～9回 研究資料の収集・整理・討論 第10～15回 研究発表・討論 第16～18回 卒論テーマ確定・報告 第19～21回 卒論の作成、報告と討論 第22～29回 年度研究報告・討論 第30回 まとめ			
学習方法： 1. 問題意識を持って卒論テーマの選定に努力する。 2. 卒論作成に向けて、研究資料の収集と整理に勤める。 3. 研究発表のため十分な準備を行い、積極的に討論に参加する。 4. 研究発表と討論の結果に基づいて、卒論テーマを確定する 5. 卒論を作成し、研究報告を行う。			
教科書・参考書等 ゼミ生と相談して決定する。必要に応じて研究資料を配布する。			
オフィスアワー 火曜日5校時、幸町南4号館3階、姚研究室。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文の詳しい作成要領などについては卒業論文指導時に説明する。			

ナンバリングコード B4STT-abcE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314110) 個別演習 (横山) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期金2/後期金2	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4STT	DP・提供部局 abcE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 横山 佳充	関連授業科目	統計学	
	履修推奨科目		
学習時間 演習90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 統計的な手法を用いて日本経済を分析することを目的とする。 受講者にもよるが、教科書の輪読やコンピュータの利用を通して経済の分析や解釈について学習していく。			
授業の目的 4月の段階で演習履修時の全般的な知識から、個別の興味あるテーマについて分析を行うことを目的とする。個別演習参加者各自が自分の興味あるテーマに関し関連図書を参照し発表を行っていく。これらの作業を複数回繰り返すことで、最終的に卒業論文の作成につなげる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
経済のしくみについて理解できるようになる。 プレゼンテーション能力を培う。 計算機リテラシーの能力を養成する。 個別演習へのテーマを設定ができる。 必要な議論を行うことができる。			
成績評価の方法と基準 ・個別演習 出席および普段の学習態度による。無断欠席に関しては単位を認定しない可能性があるので注意すること。 ・卒業論文 卒業論文等の作成時に別途に指示を与える予定ではあるが、個別演習において行ったことをA4サイズで20枚以上にまとめることを基本とする。最終的に他の受講生を含めた中で発表を行い、その優劣を含め評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・選考基準 演習で行った程度の基礎知識を有し、個別演習においても真剣に取り組むと確約できる学生であれば受け入れる。 ・授業計画並びに授業および学習方法 4月の段階で演習履修時の全般的な知識から、個別の興味あるテーマについて分析を行うことを目的とする。個別演習参加者各自が自分の興味あるテーマに関し関連図書を参照し発表を行っていく。これらの作業を複数回繰り返すことで、最終的に卒業論文の作成につなげる。			
教科書・参考書等 『経済財政白書』などの政府刊行書			
オフィスアワー 授業の時間以外にも必要に応じて質問相談等を受ける用意がある。具体的時間に関しては第1回目の演習時において示すことにしたい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 無断欠席に関しては単位を認定しない可能性がある。 各学生には担当部分に関して課題を与えるので、それに関して誠実に取り組むことが要求される。			

ナンバリングコード B4ECN-cbdE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314121) 個別演習 (岡田) Special Seminar 経済政策の実証研究	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 cbdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 岡田 徹太郎	関連授業科目	経済政策I, II	
	履修推奨科目		
学習時間 演習90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 アクティブラーニングのグループ討論形式を用いて、経済政策に関わる文献の輪読・討論・研究成果（卒業論文）の作成を行なう。前期は、春休みの課題レポート（卒論草稿6000字）を基に、ゼミ生による発表と討論を行なうほか、政策研究に関する専門的な文献を輪読し討論を行なう。後期は、夏休みの課題（20000字まで発展させた卒論草稿）を基に、発表と討論及び添削指導を行なうほか、専門性を高めた政策研究に関する文献を輪読し討論を行なう。なお、正規の演習時間外（夏休み）に、研修旅行を行なう。			
授業の目的 経済政策に関わるさまざまなトピックを深く理解したうえで、自らの見解を表明できるようにする。財政政策、金融政策、労働・社会政策、環境政策、対外経済政策などの諸政策について、学生諸君が、その歴史と現状の把握、あるいは海外の諸制度との比較をしたうえで、学習の成果として20000字の卒業論文（学位論文）にまとめられるようにする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 経済政策に関わる諸制度の現状について説明できる。 2. 経済政策に関わる諸制度の歴史的な発展とその変遷について説明できる。 3. 経済政策に関わる諸制度について、日本と海外の事例を比較し説明できる。 4. 経済政策に関わる諸制度の問題点を明らかにし、解決策を提案できる。 5. 経済政策に関わる卒業論文（学位論文）を執筆できる。			
成績評価の方法と基準 ・個別演習単位認定方法 報告担当時の報告内容（40点）、出席・討論参加状況（30点）、卒業論文（準備論文を含む）（30点）の100点満点とし、学則にしたがった成績をつける。評価にはルーブリック評価表を用いる。なお、無断欠席をしたものは不可とする。 ・卒業論文の作成要領と単位認定方針 20000字以上の論文でなければならない。作成要領の詳細は個別演習の中で指示する。単位認定にあたっては、自らの新しい見解・論点（独創性）が盛り込まれていることを要件とする。必ず、卒業論文指導を受ける事。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
・選考基準 演習（岡田）の修了者： 演習の成績による。 他の演習の修了者： 自由科目（自学科と他学科）を15科目（30単位）以上、既に修得している事を前提とし、面接のうえ可否を決定する。 ・授業計画並びに授業及び学習の方法 アクティブラーニング（能動的学修）によるグループ討論を基本とする。 第1回～第11回 SGCIME編『現代経済の解説（第3版）』の輪読・討論 第12回～第15回 ゼミ生による卒論草稿（6000字）の中間発表と討論 第16回～第21回 後期テキストの輪読・討論 第22回～第29回 夏休みの課題（20000字の卒論草稿）の発表と討論及び添削指導 第30回 卒業論文発表会			

テキストの輪読・討論に当たっては、各回に報告担当者を決める。

事前準備として、報告担当者は、テキストの内容に即した「レジュメ」を作成したうえで、参加者の質問に答えられるよう下調べを行ない、演習に臨まなければならない。他の参加者は、テキストの該当範囲を熟読し、分からなかった単語・単純な疑問と、討論に値する問題点・論点のそれぞれを「討論カード」に整理し、ゼミ前日までに提出しなければならない。

当日は、レジュメ（報告者）論点と討論カード論点に基づいて、3～5人の小グループで討論する。司会と書記を交互に担当すること。討論終了後、書記が、ゼミ全体に向けて発表を行なう。指導教員による助言と、報告担当者の総括コメントでゼミを締めくくる。

教科書・参考書等

前期：SGCIME編『現代経済の解説（第3版）』御茶の水書房，2017年，2500円。

後期：既刊の良書を選択する。

テキストは、ゼミ全体で共同購入するので、生協や一般書店等で購入してはならない。

これ以外に、通年で必要となる経済辞典として：

金森久雄・荒憲治郎・森口親司編『有斐閣 経済辞典』第5版。

を指定する。生協や一般書店等で購入して、必ず演習時に持参すること。

オフィスアワー

火曜日IV時限

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

自ら積極的にゼミに関わり合い、真摯に学ぶ姿勢が求められる。

個別演習規定時間外にも、個別に卒論指導を行なう。日程調整を行なうので、呼び出しには柔軟に応じる事。

ナンバリングコード B4ECN-bcaE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314111) 個別演習 (沖) Special Seminar 経済学の歴史	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月4/後期月4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bcaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 沖 公祐	関連授業科目	政治経済学Ⅰ・Ⅱ	
	履修推奨科目	政治経済学Ⅰ・Ⅱ	
学習時間 演習120分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 3年次の演習を踏まえて、経済思想分野の卒業論文を書くための準備作業を行います。前半では、アダム・スミスの『国富論』を輪読します。後半では、各々の卒業論文のテーマに即した個別発表を行います。			
授業の目的 古典的な著作を読み解くことを通じて、経済社会の本質や構造に対する高度な理解力を養います。また、学術論文を執筆するための基本的スキルを身につけます。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 学術的著作のような平易ではないテキストを正確に理解することができる。 2. 他人の意見を批判的に吟味することができる。 3. スミスの思想の特徴を説明することができる。 4. 論理的な文章を学術論文の形式に則って書くことができる。			
成績評価の方法と基準 個別演習： 出席状況、報告内容、議論への参加の積極性などにより総合的に判断します。 卒業論文： 認定の基準は、展開が論理的であるか、先行研究への言及があるか、学術論文としての体裁が整っているか、などです。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
選考基準： 3年次の演習の取り組み方によって判断します。 授業計画： 前半では、アダム・スミスの『国富論』を輪読し、3年次演習で読んだ『道徳感情論』と併せて、スミス思想の全体像を掴みます。後半は、卒論作成の準備を進めていきます。 自学自習： 報告担当者はレジュメを作成するなど、報告の準備をします。それ以外の参加者は文献を精読し、疑問点や論点を用意します。			
教科書・参考書等 アダム・スミス『国富論』1・2 (水田洋監訳、岩波文庫、2000年)			
オフィスアワー 初回時に指定します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文は大学で学んだことの集大成です。執筆は大変ですが、がんばりましょう。			

ナンバリングコード B4ECN-bcaE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 314112) 個別演習 (星野) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木5/後期木5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bcaE	対象学生・特定プログラムとの対応20
	授業形態 Ex	単位数4	
担当教員名 星野 良明	関連授業科目	経済数学入門, 経済と数学, ミクロ経済学I, ミクロ経済学II, 応用ミクロ経済学, 数理経済学	
	履修推奨科目	経済数学入門, ミクロ経済学I, ミクロ経済学II	
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 ミクロ経済学的なアプローチによる分析や問題解決を含む卒業論文を目指して, 研究報告と全体討論を行う。前期では春休みの課題レポートに基づいて, テーマ決定のための発表と討論を行うとともに, 論文の書き方に関連するグループワークを行う。前期末までにテーマを絞り込み, 全体構成案と基本文献リストを作成する。夏休みには先行研究の確認のために5000字程度のレポートに取り組み, 9月末(予定)に行うゼミで報告する。後期では各自の研究報告と全員による討論を行い, 12月末を目途に卒業論文の初稿を完成させる。2月中下旬(予定)にはゼミ3年生も招いて全員で卒論報告会を開く。			
授業の目的 1. ミクロ経済学の概念と分析手法を習得する。 2. 経済現象や経済問題を経済学的に分析する能力を身につける。 3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自ら注目する経済現象や経済問題について, その説明や解決に関わるミクロ経済学の知識と理解を得ることができる。 2. 自ら課題を設定した経済現象や経済問題について, ミクロ経済学の観点から説明または解決することができる。 3. わかりやすい報告資料の作成と発表を行うことができる。			
成績評価の方法と基準 ・個別演習: 参加態度, 発表内容, 提出課題を総合評価して認定します。無断欠席は厳禁です。場合によっては単位を認定しません。 ・卒業論文: 字数は原則として2万字以上とします。作成要領の詳細は個別演習の中で説明します。単位認定は, テーマに関わる先行研究や理論を踏まえているか, 展開は論理的か, 論文としての形式が整っているかなどの観点から判断します。なお, 1年間を通した作成プロセスにおいては途中報告を行い, 教員の指導を受けること。指導を受けずに提出された卒業論文は単位を認定しません。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・選考基準: 演習での参加態度, 報告内容などを総合的に評価します。 ・授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業の方法】 個人報告, グループワーク, 全員討論を組み合わせで行う。 【授業計画】 1. ガイダンス (第1回) 2. テーマ絞り込みと文献探索の報告・討論, 論文の書き方の学習 (第2回～第13回) 3. テーマ, 全体構成案, 基本文献リストの発表 (第15回) 4. 中間報告会 (9月) 5. 研究報告と全員討論, 添削指導 (第16回～第28回) 6. 卒業論文の最終点検 (第29回) 7. 卒業論文要旨の発表と点検 (第30回) 8. 卒論報告会 (2月) 【自学自習に関するアドバイス】 1. 不測の事態による卒業延期を避けるために, 卒業論文の作成は計画的に進める。 2. 参考文献の探索は根気強く継続的に行う。 4, 8. パワーポイントのスライドファイルを用意する。 5. 全体構成案に基づいて書けるところから書き進めていく。12月下旬までに一通り仕上げて仮提出し, 指導教員から添削指導を受ける。			
教科書・参考書等 【教科書】 指定しません。 【参考書】 論文の書き方に関するものも含めて適宜紹介する。			
オフィスアワー 木曜日4時限目 (予定)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ・卒業論文は通常の講義の定期試験やレポート課題のように「出してそれで終わり」というものではなく, 報告と改訂を繰り返して完成, 提出に至るものである。 ・卒業アルバムは2年間のゼミ活動のまとめとして全員協力で作成する。			

ナンバリングコード B4ECN-cbdE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314120) 個別演習 (藤原) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 cbdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 藤原 敦志	関連授業科目	演習 (藤原)	
	履修推奨科目	演習 (藤原)	
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 卒業論文の書き方を学びながら、卒業論文を作成する。そして卒業論文を執筆する過程で調べた内容を授業中にローテーションで発表する。その他の学生はそれに対して意見を言い、発表者はそれを踏まえて卒業論文をさらに発展させていく。卒業論文のテーマは経済に関係したことから自由である。また、前期は大学生による高校生向けの授業の準備も並行して行う予定である。			
授業の目的 ・卒業論文を執筆する。 ・他人の意見に対して自分の意見を述べる。 ・高校生に経済を教えることを通して、大学生自身の経済学に対する理解を再確認する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> 論文作成能力を身に付けることができる。 他人の意見に対して自分の意見を述べるができる。 他人に教える力を身に付けることができる。 			
成績評価の方法と基準 ・平成30年度個別演習単位認定方法 出席状況・受講態度・卒業論文への取り組み姿勢などを総合的に評価する。 ・平成30年度卒業論文の作成要領と単位認定方針 テーマは経済に関係することから自由である。論文は20,000字以上を原則とする。 出席状況、授業への取り組みを総合的に評価する。授業を欠席した場合は、原則として1週間以内に、その授業の資料を研究室まで取りに行き、感想文を提出すること。これを1回でも欠かした場合は、単位を認めない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・平成30年度個別演習選考基準 演習 (藤原) 修得者は、演習で学んだ内容を糧にして、卒業論文を書く意欲がある学生を受け入れる。それ以外の学生は、面接や成績によって総合的に判断する。 ・授業計画並びに授業及び学習の方法 前期は「卒業論文の書き方」について書かれた本を輪読したり、各自の卒業論文のテーマを探したりする。そしてテーマが決まった人から資料を調べて発表する。後期は卒業論文の途中経過をローテーションで発表する。 上と並行して高校生向けの授業の準備をする。 1月末にゼミ3年生を相手に卒業論文発表会を行う。			
教科書・参考書等 卒業論文の書き方に関する本を適宜紹介する。			
オフィスアワー 最初の授業で紹介する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ できれば3年次で学んだ「金融政策」か「企業倒産」に関するテーマを卒業論文のテーマとして選んでほしい。			

ナンバリングコード B4ECN-bcaE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314124) 個別演習 (持田) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期火2/後期火2	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bcaE	対象学生・特定プログラムとの対応20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 持田 めぐみ	関連授業科目	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、応用マクロ経済学	
	履修推奨科目	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、応用マクロ経済学	
学習時間 演習90分 × 30回 + 自学自習			
<p>授業の概要</p> <p>この授業では、「教育と経済学」についてのテキストを輪読しながら知識を身につけ、理解を深めていきます。適宜、マクロ経済学の復習も行います。</p> <p>受講生の希望があれば、テキスト報告以外に就職活動に備えてのグループディスカッションや、各自が関心を持った新聞記事のプレゼンなども実施します。</p> <p>授業は3、4年生合同のゼミナール形式で行う予定です。毎回、授業の最初に報告担当のグループがテキスト+αの内容について調べて発表し、その後、その日の報告内容に沿って参加者全員で議論します。また同時に、報告者の発表内容についてグループワークで討議し、受講生同士が互いに教え合うことでプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上をはかっていきます。今年度は、上級生の立場から、ゼミに貢献できるよう心掛けてください。</p>			
<p>授業の目的</p> <p>「教育と経済学」をテーマに、テキストを輪読し、議論しあうことで現代社会や経済学に対する理解を深めると同時に、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身に付けること。</p>			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<p>○ テキストの内容を正確に読み取り、プレゼンテーションとして、他者にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>○ 人によって意見がわかれる可能性のあるポイントを発見し、複数の視点からの対立する意見・考え方を自ら勘案して、述べることができる。</p> <p>○ 現代社会の諸問題について、経済学の知識に基づいた客観的解釈ができ、それをわかりやすく他者に伝えることができる。</p>			
<p>成績評価の方法と基準</p> <p>『個別演習』 フィールドワーク、課題レポートを含む授業全般への取り組み態度を見て判断します。</p> <p>『卒業論文』 報告会の様子も含めて、総合的に判断します。</p>			
<p>授業計画並びに授業及び学習の方法</p> <p>『選考基準』 「演習」の履修状況を見て判断します。</p> <p>『授業計画並びに授業及び学習の方法』</p> <p>1. 授業のガイダンス 2～13. テキスト報告、卒論経過報告 14～15. 前期のまとめ 16. 後期のガイダンス 17～26. テキスト報告、卒論経過報告 27～28. 後期のまとめ 29～30. 卒論&テーマ報告会</p> <p>受講生の状況等に応じて、上記の計画が変化することもあります。</p> <p>自主学習のアドバイス</p> <p>1. 春休みの課題にしっかり取り組んでください 2～15. 就職活動と平行して、各自の卒論をしっかり進めておきましょう 16. 特にありません 前期の成績表を忘れずに持ってきてください 17～30. 後期の授業科目と平行して、各自の卒論を早めに仕上げてください</p>			
<p>教科書・参考書等</p> <p>初回の授業で決定します。</p>			
<p>オフィスアワー</p> <p>初回の授業でお知らせします。</p>			
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</p> <p>みんなで卒業できるようにがんばりましょう！</p>			

ナンバリングコード B4ECN-bacE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 314125) 個別演習 (宮崎) Special Seminar データ分析の方法	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月4/後期月4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4ECN	DP・提供部局 bacE	対象学生・特定プログラムとの対応20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 宮崎 浩一	関連授業科目 学、計量経済学	ミクロ経済学I・II、マクロ経済学I・II、統計学	
	履修推奨科目 学、計量経済学	ミクロ経済学I・II、マクロ経済学I・II、統計学	
学習時間 演習90分×30回+自学自習			
授業の概要 データ分析の方法を基礎から学習します。これと並行して、研究の方法・論文の書き方も指導し、卒業論文の完成を目指します。			
授業の目的 IT技術の進歩によって、今、ありとあらゆることに関するデータが多数存在します。それらのデータも適当な加工・処理をし適切な方法で分析しなければ、宝の持ち腐れとなります。この講義では、データ分析の方法を学ぶとともに、統計学に関する知識の定着を目指します (DPの「知識・理解/広範な人文・社会・自然に関する知識」)。また、研究の進め方、文章の書き方、効果的な発表の仕方を習得することも目指します (DPの「言語運用能力/課題解決のための汎用的スキル」)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> 統計の諸概念 (平均、分散など) の意味を説明することができるようになる。 データを前にして、適切な操作を行い、分析することができるようになる。 問題に対して、適切なアプローチを選択し、問題を解決することができるようになる。 			
成績評価の方法と基準			
<ul style="list-style-type: none"> 個別演習 演習内でのパフォーマンス、研究への取り組みを見て判断します。 卒業論文 テーマに関しては制限はありませんが、分析には経済学的手法を使ってください。論文の中に研究テーマに関して何か新たな知見が入っているかどうかで単位認定をしたいと考えています。 			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<ul style="list-style-type: none"> 選考基準 前年度、演習 (宮崎) 履修者は、演習内でのパフォーマンス等を見て決定します。それ以外の人は成績表・書いてもらったエッセイに基づいた面接によって履修が可能かどうか決定します。 授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回: ガイダンスとイントロダクション 第2回～第15回: 講義、演習、卒論指導 第16回: ガイダンス 第17～30回: 講義、演習、卒論指導 <p>適宜、卒業論文の報告会を入れるかもしれません。</p> <p>個別演習時間外にも卒業予定者には卒業論文の指導を行います。</p> <p>卒業論文の個別演習での締め切りは12月28日とします。</p> <p>2月に卒業論文発表会を行う予定です。</p> <p>【自学自習に関するアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> わからない箇所は放置せず、積極的に質問するようにしましょう。 			
教科書・参考書等 以下の本を現時点 (2018年1月18日時点) では考えています。			
<ul style="list-style-type: none"> 伊藤公一朗「データ分析の力 因果関係に迫る思考法」光文社新書、780円+税 中室牧子、津川友介「原因と結果」の経済学-データから真実を見抜く思考法」ダイヤモンド社、1600円+税 <p>決まり次第、連絡します。</p>			
オフィスアワー 毎週木曜日2時間目と3時間目に、南2号館3階の研究室で対応します。それ以外は事前にメールでアポを取ってください。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・無断欠席は厳禁です。 講義中の携帯電話やスマホの使用は禁止です。 			

ナンバリングコード B4BSN-cbdE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324136) 個別演習 (藤村) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cbdE	対象学生・特定プログラムとの対応20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 藤村 和宏	関連授業科目	流通システム論A、流通システム論B	
	履修推奨科目	マーケティング論A、マーケティング論B	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
<p>授業の概要 高校までの授業は、答えのある問題が与えられ、その答えを見つけ出す方法・知識の習得を中心に行われるのに対して、大学の講義は、答えのない、解決すべき問題を自ら発見し、その答えを自ら生み出す能力の習得を中心に行われるべきであると考えている。そのため本演習では、マーケティングに関する理論的・実証的研究を通じて、自ら問題を発見し、理論的に考察することで仮説を構築し、量的あるいは質的調査によって検証する能力を習得することを目的としている。</p> <p>具体的には、テキストを輪読するとともに、卒業論文の作成を行う。さらに、マーケティングの学習においては、自ら経験し五感で感じることで、そこから問題を発見することが重要であるので、企業見学あるいは異文化体験を行う。</p> <p>また、研究テーマを自ら設定して理論的・実証的に考察を行うとともに、3年生の演習にも参加し、下級生を指導しながら自らも学ぶ必要がある。</p> <p>卒業論文については、12月あるいは1月に行う合宿で発表し、討議を行う。</p>			
授業の目的 マーケティングに関する理論的・実証的研究を通じて、自ら問題を発見し、理論的に考察することで仮説を構築し、量的あるいは質的調査によって検証する能力を習得すること。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティング問題に関心を持つことができる。 2. 新聞や専門誌のマーケティング戦略に関する記事を理解・解説できる。 3. 仮説を構築し、検証するための技法を習得できる。 			
<p>成績評価の方法と基準</p> <p><個別演習> 個別演習単位の認定は、出席状況 (10%)、レジュメによる報告内容 (20%)、卒業論文研究活動および論文 (50%)、討議内容 (20%) により総合的に判断する。</p> <p><卒業論文> 卒業論文の作成においては、学生らしい視点でマーケティング、流通、消費者行動などにかかわる問題を理論的および実証的に考察しなければならない。なお、卒業論文は以下の条件の中の2つ以上を満たしていなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語文献を用いる。 2. 質的あるいは量的調査を実施する。 3. 多変量解析ソフト (SPSS) を用いて分析する。 <p>書式及び分量は、以下の要件を満たしていなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分量は20,000字以上で、A4判上質紙にワードプロセッサで書くこと。 2. 表紙、目次、参考文献、頁番号 (表紙および目次以外の頁に通し番号で) は必ずつけること。 <p>単位認定は研究内容の独創性 (30%) と考察内容 (70%) に基づいて行う。</p>			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p><選考基準> 個別演習選考基準の以下の4点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 演習での報告および討議内容 (2) 卒業論文のテーマと作成意欲 (3) 演習およびコンパ等への参加状況 (4) 演習でのグループ研究活動の状況と発表内容 <p><授業計画並びに授業および学習の方法></p> <p>第1回 ガイダンス 第2回～15回 輪読によってマーケティングに関する理論の修得と討議 第16回～30回 輪読によってマーケティングに関する理論の修得と討議+ 卒論の研究発表</p> <p>【自学自習に関するアドバイス】 第1回～30回 各回の文献を読むとともに、重要な概念や理論、関連ケースを調べる。 また、卒論研究を理論的・実証的に行う。</p>			
教科書・参考書等 随時指示する。			
オフィスアワー 月曜日: 10時～12時 19時～21時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 3年生の演習にも参加し、彼らを指導することで、自らも学ぶ。			

ナンバリングコード B4BSN-bcaE-20-Ep4 授業科目名 (時間割コード：324147) 個別演習 (井上善) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 bcaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ep	単位数 4	
担当教員名 井上 善弘	関連授業科目	簿記入門・会計学総論・株式会社会計・監査論	
	履修推奨科目	簿記入門・会計学総論・株式会社会計・監査論	
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 3年次の演習を踏まえて、財務諸表監査に関する卒業論文の作成指導を行う。受講生には、卒業論文の進捗状況に関して定期的な報告を求める(知識・理解、問題解決・課題探究能力、言語運用能力)。			
授業の目的 財務諸表監査に関する卒業論文の作成に必要な専門的知識と文章作成能力を身に付ける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
卒業論文に関わるレジュメを作成することができる(知識・理解、問題解決・課題探究能力、言語運用能力)。 卒業論文に関わる討論に参加することができる(知識・理解、問題解決・課題探究能力、言語運用能力)。 自らの主張とその論拠を明示した論文を作成することができる(知識・理解、問題解決・課題探究能力、言語運用能力)。			
成績評価の方法と基準 選考基準：演習における受講態度及びレポートの内容による。 単位認定方法：日常の受講態度及び卒業論文の内容による。 卒業論文の作成要領と単位認定方針：卒業論文の作成時に詳細について指示するが、学部の卒業論文として適切な水準の量と質が求められる。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 ガイダンス 第2回～第12回 卒業論文経過報告(第1次) 第13回～第15回 中間報告 第16回～第26回 卒業論文経過報告(第2次) 第27～第29回 最終報告 第30回 総括と整理			
自学自習			
各自の報告に際しては、十分な準備が必要となる。			
教科書・参考書等 教科書：指定しない。 参考書：随時紹介する。			
オフィスアワー 演習終了後随時受け付ける。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文の指導が厳しいものとなることについてあらかじめ覚悟されたい。			

ナンバリングコード B4BSN-bcaE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード:324150) 個別演習(朴鏡) Special Seminar 管理会計の理論と実践	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 bcaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 朴 鏡杓	関連授業科目	会計学関連授業科目	
	履修推奨科目	経営学関連授業科目	
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 この授業では、管理会計の理論と実践に関する研究の指導を行う。 前期では、卒業論文の研究計画書を基にゼミ生による発表を行うほか、意思決定、原価管理、業績評価などに関する文献研究を行う。 後期では、各自が設定した研究テーマに関連する文献をレビューしてもらい、卒業論文の完成に向けて論文指導を行う。			
授業の目的 管理会計の理論と実践に関する基礎知識を身につける(DPの「知識・理解」に対応)とともに、経営意思決定、原価管理、業績評価等の諸問題について管理会計情報を用いて分析できるようになる(DPの「問題解決・課題探求能力」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 経営管理プロセスにおける管理会計の役割について説明できる。 2. 管理会計情報を用いて代替案間の優劣を評価できる。 3. 管理会計情報が人や組織の意思決定に及ぼす影響について説明できる。			
成績評価の方法と基準 ・個別演習 出席状況、ゼミ活動への参加度、卒業論文への取り組み、報告内容などを総合的に評価して決定する。なお、無断欠席3回以上の場合は単位を認定しない。 ・卒業論文 本文20,000字以上で、論理性、新規性を重視して評価する。その他、作成要領については個別演習の中で別途指示する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・選考基準 演習の成績による。 ・授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回 オリエンテーション 第2回～第6回 研究テーマの選定と研究計画の発表 第9回～15回 管理会計文献の輪読・討論 第16回～30回 卒業論文発表と個別指導			
教科書・参考書等 テキストと参考書は初回の授業で紹介する。			
オフィスアワー 月曜日13時～14時の間、朴研究室において随時、質問・相談などに応じる。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文の進捗状況に応じて授業時間や日程を調整する場合がある。			

ナンバリングコード B4BSN-abcE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 324133) 個別演習 (安井) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 abcE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 安井 敏晃	関連授業科目	リスクと保険, 保険システム論等	
	履修推奨科目	リスクと保険, 保険システム論	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 個別演習においては, 卒業論文の作成が中心となる。毎回, 担当者に卒業論文の中間報告をしてもらう。さらに担当者の報告に対して全員で討論を行う。			
授業の目的 卒業論文に必要な専門分野に関する応用的な知識や文章作成能力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
卒業論文に関わるレジメないしレポートを書くことができる。 卒業論文に関わるプレゼンテーションができる。 卒業論文に関わる討論ができる。			
成績評価の方法と基準 ・ 個別演習 報告, 授業への参加状況, レポート, 卒業論文を総合して評価する。 ・ 卒業論文 卒業論文は20,000字以上とする。詳細については, 個別演習において説明する。 論理展開, 説得力, 独創性などの観点から総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・ 選考基準 演習における研究活動を考慮して, 研究意欲の高い学生を受け入れる。 報告, 授業への参加状況, レポートを総合して評価する。 ・ 授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回 卒業論文作成に向けたガイダンス 第2回～第14回 卒業論文発表 1 第15回 演習内卒論報告会 ・ 自学自習について 毎回, 何らかの課題があるので, 熱心に取り組むこと。			
教科書・参考書等 最初の講義時に指示する。 適宜, 指示する。			
オフィスアワー 現段階では, 演習開講日の3時限とする。 参加できない演習生がいる場合には, 全員参加できる日時に変更する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文は20,000字以上とする。詳細については, 個別演習において説明する。 論理展開, 説得力, 独創性などの観点から総合的に評価する。			

ナンバリングコード B4BSN-cadE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324155) 個別演習 (古川) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cadE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 古川 尚幸	関連授業科目		
	履修推奨科目 環境システム論、商品システム論、資源エネルギー論、商品実験		
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 「商品」・「環境」・「地域活性化」について総合的な研究を行い、卒業論文を作成します。 商品：商品学の視点から見た商品の適商性に関する研究 環境：商品学の視点から見た循環型社会に関する研究 地域活性化：商品学の視点から見た地域資源の再評価に関する研究 「商品」・「環境」・「地域活性化」のどの分野においても、フィールド調査を取り入れた研究を行います。その他、工場見学なども予定しています。			
授業の目的 「商品」・「環境」・「地域活性化」について、商品学の視点から、基礎的な考え方を身につけ、卒業論文を作成することを目的とします。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
①商品学の視点から見た商品の適商性について、基本的な考え方を身につける。 ②商品学の視点から見た循環型社会について、基本的な考え方を身につける。 ③商品学の視点から見た地域資源について、基本的な考え方を身につける。 ④商品学の視点から、各自で決定したテーマに基づき卒業論文を作成し、自分の考えを構築することができる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 出席状況と取り組み姿勢、卒業論文により評価します。 【卒業論文】 設定した各自のテーマをもとに、資料やデータを収集し、2万字以上にまとめます。その他の詳細については別途指示します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 研究テーマに関心があり、ゼミ活動全般に積極的に取り組む意欲と協調性のある学生を希望します。フィールド調査を取り入れた研究を行いますので、積極性を重視します。選考については、演習での出席状況と学習態度により選考します。 【授業計画および授業方法】 各自の卒業論文テーマに基づきフィールドワークを行い、卒業論文を作成します。フィールドワークを行うたびに、大学内で活動報告を行います。 卒業論文テーマについては、教員と学生間で相談したうえで決定します。			
教科書・参考書等 教科書は適宜指示します。 参考書は随時指定します。			
オフィスアワー 金曜日4時限目 経済学部2号館2F古川研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文の作成にあたり、必ずフィールドワークを行います。積極的にフィールドワークに取り組むことができる学生を希望します。 学生教育研究災害傷害保険に加入していることが条件です。			

ナンバリングコード B4BSN-cbaE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324158) 個別演習 (青木) Special Seminar 企業の社会的責任 (CSR)・企業倫理問題 の理論的、実践的解決	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cbaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 青木 宏之	関連授業科目	経営学関連の科目	
	履修推奨科目	経営学原理、現代企業論、経営学史、経営史、企業と社会	
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 この演習は、近年話題となっている「企業の社会的責任(CSR)」「企業倫理」やその他の企業経営の諸側面について、自ら問題を設定し、その解決を導き出す能力を育成することを目標とする。 特にこの演習では、以下の2つの活動を重視している。 ①現代を代表する経営学理論・企業倫理論を習得し、理論的視野の確立を図る。 ②上の理論的観点に基づいて、「企業の社会的責任」「企業倫理」などの経営実践における問題へとアプローチする。 以上のステップを経ることで、本演習は「理論的視野の確立とその実践への応用」の方法を習得することを最終到達目標とする。			
【活動内容】 卒業論文の中間報告を中心とする。ある程度の研究が完了した時点で定期的に中間報告を行うこと。卒業論文の提出には所定の中間報告回数を必要条件とする。			
授業の目的 少人数での学習により、論理的表現力や文章力、現代の経営問題に対する分析力や問題解決能力を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
・現代を代表する経営学理論・企業倫理論を習得し、自らの寄って立つ理論的視野を確立できる。 ・上記の理論的立場に基づいて、「企業の社会的責任(CSR)」や「企業倫理」などの現代企業経営問題にアプローチし、自分なりの解決策を導き出せる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 課題遂行状況、報告状況、出席状況、討議への参加状況などを勘案して総合的に評価する。			
【卒業論文】 文字数などの詳細は別途指示する。 文字数を満たしているか、所定の書式を満たしているか、論理性や独創性を持っているかといった点を中心に、総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 演習での成績や取り組み具合を中心的な選考基準とする。 演習を履修していない場合は、面接を行い、成績を合わせて選考する。			
【授業計画ならびに授業及び学習の方法】 少人数でのゼミナール形式で講義を進める。 (1) ガイダンス (2) ～ (30) 卒論中間報告、卒論最終報告			
【自学自習に関するアドバイス】 (2) ～ (30) ・各自卒業論文の研究を進めておき、定期的に中間報告を行うこと。			
教科書・参考書等 その都度各自に指示する。			
オフィスアワー 木曜日 3時限目 青木研究室 (幸町南7号館2階)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ・無断遅刻・無断欠席は厳禁。履修を即刻取り消す。 ・卒業論文にまじめに取り組むこと。			

ナンバリングコード B4BSN-bcdE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324148) 個別演習 (宮脇) Special Seminar エンパワーメントと管理会計情報	科目区分 専門教育科目	時間割 前期金5/後期金5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 bcdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 宮脇 秀貴	関連授業科目	管理会計および経営学関連の授業科目	
	履修推奨科目	会計学・経営学関連の授業科目	
学習時間 講義90分×30回+α+自学自習			
授業の概要 このゼミの目標は、ゼミナール活動を通して、個人のコンピテンシー（コミュニケーション能力、自己表現能力、論理思考能力および文章作成能力）を高め、様々な「人間力」を成長させることです。社会に出て必要な力、就職活動で求められる力、そして、ゼミの2年間（特に3年生の1年間）で身に付けなければならない力は、全てフラクタル（自己相似）な関係にあり、無関係ではありません。みなさんには、「社会に出て生きていく」ことから逆算した準備が必要であり、そうした意識を持った上で、自分を見つめ、成長していこうとする意志と行動力が求められています。			
授業の目的 社会と大学とゼミナールをフラクタル(自己相似)な関係として捉え、そこから必要とされる知識・技法・マナーを、仲間との相互作用を通して身に付けること。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
個人のコンピテンシー（コミュニケーション能力、自己表現能力、論理思考能力および文章・資料作成能力）を高め、様々な「人間力」を磨くことができる。			
成績評価の方法と基準 [個別演習] (1)出席（原則：毎回）、参加態度、プレゼンテーションおよび研究活動 (2)卒業論文 [卒業論文]（20,000字以上） (1)演習および個別演習の研究活動の成果を反映しているもの (2)学術的な貢献があり、かつクリエイティブでオリジナリティーに溢れるもの			
授業計画並びに授業及び学習の方法 [選考基準] 演習の結果（成績がA以上）、基本能力、協調性および面接 [授業計画ならびに授業および学習の方法] (1)卒業論文作成に向けた資料の収集・分析および報告 (2)就職あるいは進学に必要なコンピテンシーを高める （読解・題名当てクイズ、グループディスカッション(民法・政治のしくみなど)、プレゼン寅さん、各種資格試験の勉強など） (3)3年生の演習指導 ※オプションとして、“Work Shop”では簿記を、“ELP(Effective Listening Practice)”では英語のリスニングを学習することができます。また、“ENJOG”ではウォーキングによる体力作りを行えます。			
教科書・参考書等 随時指定			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ※自分の足元をしっかりと見つめるとともに、将来を見据え、今できることを着実に積み重ねることが大切です。また、「学生の時にしかできないこと」にいろいろとチャレンジして欲しいと思っています。			

ナンバリングコード B4BSN-cabE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 324151) 個別演習 (繁本) Special Seminar 財務会計の理論と実践	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cabE	対象学生・特定プログラムとの対応20
	授業形態 Ex	単位数4	
担当教員名 繁本 知宏	関連授業科目 経営財務論、金融論	簿記入門、会計学総論、株式会社会計、監査論、	
	履修推奨科目 経営財務論、金融論	簿記入門、会計学総論、株式会社会計、監査論、	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 3年次の演習を踏まえて、財務会計あるいはその周辺分野に関連する文献研究を行いつつ、卒業論文の執筆指導を行う。			
授業の目的 卒業論文の執筆に必要な専門知識を身に付けるとともに (DPの「知識・理解」)、卒業論文のテーマとしてふさわしい課題を自らの力で見出し、その課題に対して的確な分析と考察を経て合理的な結論を導く (DPの「問題解決・課題探求能力」)。その上で、分かりやすく論理的な卒業論文を作成する (DPの「言語運用能力」)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 卒業論文の執筆に必要な専門知識を言葉や文章で的確に説明できる。 2. 独創的な研究課題を自ら見出せる。 3. 設定した課題に対して、的確な分析と考察を経て合理的な結論を導き出せる。 4. 分かりやすく論理的な論文を作成できる。			
成績評価の方法と基準 (個別演習) 日頃の取組姿勢と卒業研究の質による。授業における個人研究の進捗報告の質や、ディスカッションへの参加状況も重要な評価要素である。 (卒業論文) 字数は20,000字以上とし、卒業論文としてふさわしい質を備えていることが必要である。具体的には、既存文献の焼き直しではない独創的な課題設定、先行研究の十分な読み込み、適切なデータの利用、論理的な文章構成、十分な根拠に基づく説得力のある結論、論文としてふさわしい文体などが求められる。これらの達成度をもとに評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1. 選考基準 演習の取組状況による。 2. 授業計画並びに授業及び学習の方法 (1) 前期 ・各自で卒業論文のテーマを設定し、研究計画をブラッシュアップする。 ・研究の進捗状況を定期的に報告し、ゼミ生全員でディスカッションを行う。 (優れた論文を作成するためには、他人からの指摘が非常に役に立つ) ・知識を補強するため、各人の研究テーマに関連した先行研究を題材とした討論を、ゼミ生全員で行う。 (2) 夏休み中 ・各自で論文の柱となる分析を行う。 (ここで分析の大半に目途を付けておかないと締切に間に合わない公算大) (3) 後期 ・論文作成の進捗状況を定期的に報告し、ゼミ生全員でディスカッションを行う。 ・授業時間だけでは行き届いた指導が難しいと思われるため、個別演習の授業時間外において、個別指導を適宜行う。 (自学自習のアドバイス) 卒論作成は長期的な計画に基づくことが必要。4年次は就活などに時間を取られがちだが、少しずつでも時間をみつけて作業を進めることを心掛けてもらいたい。			
教科書・参考書等 特定のテキスト、参考書は指定しない。各自の研究テーマに即した文献を随時紹介する。			
オフィスアワー 初回授業時に指定する。ただし、指定時間以外でも、事前連絡があれば学習相談に随時応じる。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒論作成は能動的な行動が非常に重要。「言われるまでやれない」「ギリギリにならないと動けない」という受動的な姿勢を取ってしまうと卒論完成は覚束ない。かなり長い文章が要求されることもあり、要領の良さだけでは乗り切れない面があることを肝に銘じて、真摯に卒論作成に取り組んでもらいたい。			

ナンバリングコード B4BSN-bcdE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324140) 個別演習 (松岡) Special Seminar 経営組織のマネジメントの研究	科目区分 専門教育科目	時間割 前期火2/後期火2	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 bcdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 松岡 久美	関連授業科目	経営組織論A, 経営組織論B, 人的資源管理論A, 人的資源管理論B, 経営戦略論A, 経営戦略論B	
	履修推奨科目	経営組織論A, 経営組織論B, 人的資源管理論A, 人的資源管理論B, 経営戦略論A, 経営戦略論B, 経営統計学, 調査データ分析	
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 卒論作成のための研究指導を行う。			
授業の目的 卒業論文に必要な専門分野に関する応用的な知識や研究遂行能力を身につける(学士課程のDP「知識・理解」および「問題解決・課題探求能力」に対応)。 また、相互にコメントをしあえる環境を作り、ゼミ全体として質の高い研究成果を出せるように取り組む。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> 組織理論についての応用的な知識を述べることができる。 文献レビュー, 調査の設計, データの収集・分析, 論文の執筆を行うことができる。 他者の研究(4年生卒論, 3年生プロジェクト研究)に対して, 建設的な批評や助言を行うことができる。 			
成績評価の方法と基準 個別演習: 受講態度(準備状況および討議への貢献度など), 個別研究の進捗状況により, 総合的に評価する。 卒業論文: 下記の要件を満たしている場合に卒論としての提出を許可し, その内容に応じて評価を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 経営組織のマネジメントに関連した研究テーマが選択されていること 既存研究を踏まえた上で書かれていること 独自にデータの収集・分析を行って作成された実証研究であること 研究論文作成のための様式にのっとり書かれていること(詳細はゼミ時に指示) 分量の目安は20,000字以上 			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【選考基準】 <ul style="list-style-type: none"> 演習への取り組み状況および研究計画書により選考する。 他演習からの移籍の場合には, 研究計画書および面接により選考する。 【授業計画並びに授業及び学習の方法】 卒論の進捗報告と質疑が中心となる。おおよその予定は以下の通り。 (前期) 第1回 イン트로ダクション 第2回～第14回 進捗報告 第15回 卒論中間報告会(3年生と合同) (後期) 第16回 進捗経過報告会(3年生と合同) 第17回～25回 進捗報告 第26回～29回 個別指導 第30回 卒論報告会(3年生と合同)			
受講者は, 2～3週に一度程度の頻度で報告を行う。報告担当者は, プレゼン資料を作成した上で人数分コピー・配布し, プレゼンテーションと質疑への応答を行い, 今後の研究課題を明確にしていくことが求められる。卒論提出後の報告会は公開の形式で実施する。			
教科書・参考書等 特定のテキストは用いないが, 各人の卒業論文作成上有益な書籍は随時紹介する。			
オフィスアワー 開講時にアナウンスする。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 無断欠席は厳禁 アンケート調査により論文を執筆しようとする者は, 調査データ分析, 経営統計学のいずれかを履修済み, あるいは履修予定であること。			

ナンバリングコード B4BSN-cabE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 324142) 個別演習 (松岡・小宮) Special Seminar 流通・マーケティングに関する研究	科目区分 専門教育科目	時間割 前期金2/後期金2	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cabE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 松岡 久美, 小宮 一高	関連授業科目	流通システム論A, B, マーケティング論A, B	
	履修推奨科目	流通システム論A, B, マーケティング論A, B	
学習時間 自身の研究の進捗に応じて、個別演習の時間外に自主的に研究をおこなうことが不可欠である。また休業期間にも作業が必要となる。			
授業の概要 この授業では、卒業論文の作成のために必要な知識と技能を学び、卒業論文として研究を進めるとともに、その成果を発表し、演習生間での議論や教員からの指導を通じて、その質を高める。 授業は主に以下の4つのパートからなる。 <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文のテーマ、問題意識の設定 卒業論文の作成のためには、適切なテーマと問題意識の設定が何より重要である。テーマは自分の興味あるものでよいが、経営学に関連することが条件である。 卒業論文作成のための方法論の習得 卒業論文の作成のためには「論文をどのように書くか」という方法論を理解しておくことが必要である。これは主に <ul style="list-style-type: none"> 論文作成の進め方 論文の構成 (どのような内容を、どのような順序で書くか) 論文の主張を根拠づけるデータの収集・分析方法 (主にアンケート調査とインタビュー調査) といった内容である。演習の段階で理解できている内容もあると思われるが、これらの内容を再度確認し、卒業論文の執筆を着実に進めていく。 研究内容の報告と議論 卒業論文の研究がある程度進展した段階で、個別演習の時間に研究内容を発表してもらう。発表に際して、その時点までの研究成果をまとめ、習生間や教員との議論を通じて研究をより深め、進展させる。 個別指導 教員が演習生個々の研究内容に特化した指導をおこなうために、個別指導の時間を設ける。 個別演習では、これらに関わる内容を順次おこなっていく。なお学生の就職活動については、必要に応じて考慮する。			
授業の目的 経営学、特に流通、マーケティング、消費者行動に関わる現象を理論の観点から捉え、データを通して思考を深め、それを表現する能力を養うこと			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> 経営学に関わる現象の中から研究可能な問題を発見し、問題意識として設定できる 主要なデータ収集方法 (主にインタビュー調査、アンケート調査を想定) による調査を実践し、そのデータを分析できる 研究成果を文章やプレゼンテーションの形で表現できる 			
成績評価の方法と基準 ●平成30年度個別演習単位認定方法 卒業論文作成の過程において与えられる課題への対応状況による。 ●平成30年度卒業論文の作成要領と単位認定方針 演習生は、興味ある研究テーマを設定し、適切な調査手法 (主にアンケート調査、インタビュー調査) を用いて主張を根拠づけるデータを収集、分析し、業論文を作成する。単位認定は、結論を導くために必要なデータを適切に収集・分析しているかどうかを1つの基準とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
●選考方法 個別演習を履修するための条件は、3年次の演習で学習した内容が定着していること、また、卒業論文作成への意欲が高いことである。ただし、平成28年度は、個別演習の選考はおこなわない。			

●授業計画

第1回 前期イントロダクション

第2回～3回 研究テーマと問題意識の設定

第4回～7回 卒業論文の作成について（論文作成の進め方とデータ収集の方法）

第8回～15回 研究発表および個別指導

第16回 後期イントロダクション

第17回～29回 研究発表および個別指導

第30回 卒業論文発表会

●学習方法

卒業論文は、学生が主体的に作成するものである。演習生には、自身の研究の進捗状況を把握し、計画的に作業を進めることが求められる。特に論文作成に必要なデータ収集については、どのようなデータを収集するかによって適切な実施時期が異なる。教員と相談の上適切な時期にデータが収集できるように作業を進めること（例えば、卒業論文提出間際になってアンケート調査をおこなうことは難しい）。

教科書・参考書等

適宜指示する。

オフィスアワー

金曜日3時間目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

ゼミの運営に主体的、積極的に関わり、あらゆる活動から学び、楽しむ姿勢を期待する。

ナンバリングコード B4BSN-cbdE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 324160) 個別演習 (向) Special Seminar 国際経営ゼミナール International Management Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cbdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 向 滄	関連授業科目	国際経営論、経営学概論、経営戦略論A、経営戦略論B、経営組織論A、経営組織論B、人的資源管理論A、人的資源管理論B、マーケティング論A、マーケティング論B、流通システム論A、流通システムB、中小企業経営論	
	履修推奨科目	調査データ分析	
学習時間 講義90分×30回+自学自習			
授業の概要 卒業論文作成のための研究指導を行う。			
授業の目的 卒業論文に必要なとなる専門分野に関する応用的な知識や文章作成能力を身に付ける。また国際経営の理論と研究方法論を活かして、多国籍企業の経営活動の実証研究を行い、卒業論文を作成する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> 国際ビジネス戦略とマネジメントについて問題意識を持ち、かつ適切な方法で調査・研究し、論理的な文章を書くことができる。 卒業論文に関わるレジュメや論理的な文章を書くことができる。 卒業論文に関わるプレゼンテーションと討論を通じて、自らの主張を他人に明確に伝えることができる。 			
成績評価の方法と基準			
<ul style="list-style-type: none"> 個別演習 卒業研究の進捗状況と成果、ゼミ活動へのコミットメントと貢献により総合的に評価する。 卒業論文 卒業論文は、以下の条件を満たさなければならない。卒業論文の完成度と面白さに応じて評価を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①学生らしい問題意識を出発点とした国際経営に関する研究 ②先行研究を踏まえた上で書かれていること ③書式にのっとって書かれていること (書式については別途指示する) ④論理性と独創性を持っていること ⑤文字数は20,000字以上 			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<ul style="list-style-type: none"> 選考基準 <ol style="list-style-type: none"> ①3年生の演習から継続する場合は、特に選抜を行わない。 ②4年生から新規に個別演習に参加したい場合は、志望理由書、研究計画書および面接により選考する。 授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業計画】 <p>第1回 イントロダクション 第2～29回 研究発表および個別指導 第30回 卒業論文発表会</p> <p>なお、ローテーションで3年生演習の補助をしてもらうこともある。</p> 【学習方法に関するアドバイス】 <ol style="list-style-type: none"> ①演習生は教員のサポートの下で、主体的に卒業論文に取り組むこと。 ②演習生は自らの進捗状況を把握しながら、計画的に研究を進めること。 ③毎回の中間発表の前日までに、発表者は原稿をゼミ全員に送付して、目を通してもらうこと。 ④演習生は他人の発表内容に対して、建設的な意見を積極的に述べること。 			
教科書・参考書等 特定の教科書を使わないが、卒業論文作成上有益な参考書を、随時各自に紹介する。			
オフィスアワー 事前にe-mail等でアポイントメントを取ってください。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> 無断欠席は厳禁。 体調管理に気を付けて、時間に余裕を持って、卒業論文に取り組むこと。 			

ナンバリングコード B4BSN-abcE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 324159) 個別演習 (嘉本) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 abcE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 嘉本 慎介	関連授業科目		
	履修推奨科目	経営財務論	
学習時間 演習90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この演習の目的は卒業論文の作成である。金融市場への投資や企業の経営財務などのファイナンスに関連する問題をテーマとして受講生各自が見つけて、そのテーマについて数学的なモデルを用いた分析、もしくはデータを用いた分析を行う内容の卒業論文を作成してもらう。 卒業論文の作成に必要な知識と分析手法について受講生各自に自主的に学習してもらう。それとともに、卒業論文の進捗状況に関する報告を定期的に行ってもらい、その内容をもとに論文作成の指導を行う形式で授業を進める。			
授業の目的 卒業論文に必要な専門分野に関する応用的な知識や文章作成能力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
卒業論文に関わるレジメないしレポートを書くことができる。 卒業論文に関わるプレゼンテーションができる。 卒業論文に関わる討論ができる。			
成績評価の方法と基準 個別演習 卒業論文の進捗状況等に関する報告の内容 (内容の理解度・報告や説明の仕方・資料のまとめ方等)、卒業論文のテーマに関する理解度、卒業論文作成への自主的な取り組み具合、課題の出来具合などによって総合的に評価する。 卒業論文 1. 作成要領 金融市場への投資や企業の経営財務などのファイナンスに関連する問題をテーマとして受講生各自が見つけて、そのテーマについて数学的なモデルを用いた分析、もしくはデータを用いた分析を行う内容の卒業論文を作成してもらう。卒業論文の文字数は2万字以上とする。 2. 単位認定方針 卒業論文の内容 (論理性、考察力、分析の妥当性、説明表現力等) によって単位を認定する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
選考基準			
演習において課す試験・課題レポート・報告の内容 (内容の理解度・報告や説明の仕方・資料のまとめ方等) の出来具合と授業への取り組み態度を総合的に評価して選考する。 授業計画並びに授業及び学習の方法 金融市場への投資や企業の経営財務などのファイナンスに関連する問題をテーマとして受講生各自が見つけて、そのテーマについて数学的なモデルを用いた分析、もしくはデータを用いた分析を行う内容の卒業論文を作成してもらう。 卒業論文の作成に必要な知識と分析手法について受講生各自に自主的に学習してもらう。それとともに、卒業論文の進捗状況に関する報告を定期的に行ってもらい、その内容をもとに論文作成の指導を行う形式で授業を進める。			
教科書・参考書等 参考書 『現代ファイナンス理論入門 第2版』 仁科一彦 (著) 『しっかりわかるファイナンス』 渡辺茂 (著) 『コーポレートファイナンスの原理第9版』 大野薫 (訳) 『コーポレートファイナンス入門編第2版』 久保田敬一他 (訳) 『コーポレートファイナンス第10版 (上)・(下)』 藤井真理子・国枝繁樹 (訳)			
オフィスアワー 木曜日 18:00~19:30			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 個別演習は受講者の積極的な参加のもとで成り立つ授業である。そのため、無断欠席・遅刻・授業中の迷惑行為等には厳しく対処する。また、受講生には、自分の意思で受講を願いでて演習に参加していることを自覚することを求める。			

ナンバリングコード B4BSN-cbaE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 324161) 個別演習 (趙) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cbaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 趙 命来	関連授業科目	経営学関連科目	
	履修推奨科目 論	マーケティング論、経営戦略論、流通システム論	
学習時間 演習90分×15回+自学自習			
授業の概要 大学で学ぶことは、特に社会科学の場合は、「社会で起きている出来事を、研究の世界で言われていること（理論）と照らし合わせながら理解する力を付けること」です。理論は、「個々の現象を法則的に、統一的に説明できるように道筋を立てて組み立てられた知識の体系」です。「個々の現象」とは世の中で起きている出来事ですが、現実（「個々の現象」）は常に変化しているわけです。理論は現実を説明するためのものですから、現実がかなり変化していると、理論はいずれ当てはまらなくなります。そうすると、新たな現実に合わせてはまるように理論を作りかえなければなりません。本個別演習では、このような作業をマーケティングや流通の分野に焦点を当てて行います。			
授業の目的 本個別演習では、マーケティングや流通における理論を学び、そこで起きている現実を理論的に眺めて見る、あるいは理論を現実的な側面から眺めてみることを通じて、自ら問題を発見し、解決策の仮説（仮の答え）を立て、検証する作業を行います。本演習はこのようなトレーニングを通じて、マーケティングや流通の現象を深く理解することはもちろん、「問題発見能力」、「問題解決能力」、いわゆる「現実を見る目（社会で起きていることを理論と対応させながら考える力）」を養うことを、目的とします。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. マーケティングがわれわれの生活にどのようなかわりをもつか理解できる。 2. 現場でマーケティングをうまく実践するために理論がどのように役に立つか理解できる。 3. ある問題について論理的に考える、伝える、討論する、文章で表現できる。			
成績評価の方法と基準 ・ 個別演習 卒論進行状況、出席状況、報告内容、議論への参加度、ゼミ活動などの状況に基づいて総合的に判断します。 ・ 卒業論文 図表含まず20,000字以上。マーケティングや流通にかかわるテーマを選ぶこと。インタビュー調査あるいはアンケート調査を実施すること。関連する論文や新聞・雑誌などを十分に読むこと。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・ 選考基準 演習での取り組み状況（演習への積極性、卒論進行状況、出席状況、ゼミ活動への参加度など）により、総合的に判断します。 ・ 授業計画並びに授業及び学習の方法 マーケティングや流通にかかわる現象（問題）を卒論のテーマとして自由に選び、毎回の個別演習では数人の報告担当者がレジュメを作成・報告し、議論を行う。 最終回に卒論報告会を開催する。			
教科書・参考書等 資料を配布します。			
オフィスアワー 随時、研究室にて受け付けます。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ゼミ生同士がお互いの卒論テーマに関心を持ち、個別演習やそれ以外の時間においても普段から議論や相談をすること。 指導教員と十分な相談や議論を行うこと。 演習に迷惑をかけるような行動、遅刻、無断欠席がある場合には単位を与えません。			

ナンバリングコード B4BSN-cbdE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324162) 個別演習 (張) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 cbdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 張 暁紅	関連授業科目	経営史、現代企業論	
	履修推奨科目	経営史、現代企業論	
学習時間 授業時間90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 本演習では、企業のあり方及びその歴史的成因について研究を行い、それを卒業論文として完成させる。 主な内容は以下のとおりである。 ・前年度までの研究成果を踏まえて、各自の卒論テーマを改めて設定する。 ・卒論に向けて、中間報告を定期的に行い、ディスカッションをし、論文の修正を随時行う。 ・卒論を完成させる。			
授業の目的 この授業の目的は下記のとおりである。 ・企業の経営上の問題を歴史的な視点を用いて分析することができる。 ・必要とする資料へのアクセス方法を習得できる。 ・自ら研究課題を設定し、それを資料を駆使して論理的に説明することができる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
・企業の抱える問題を歴史的に思考することができる。 ・グループワークの力を借りて、最終的に自力で研究課題を解決することを学べる。 ・自分の考え方を文書にして、論理的に説明することができるようになる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 以下の3点を配慮し、総合的に勘案する。 ①出席状況、②中間報告への取り組む姿勢、③課題遂行状況 【卒業論文】 卒業論文は以下の諸点を達成できることを条件とする。達成度を鑑み卒論の成績とする。 ①先行研究を踏まえたうえ、研究目的をはっきりと明示する。 ②資料の使い方は適切である。 ③論理展開は明瞭で説得力がある。 ④一定の独創性を有する。 ⑤2万字以上である(図表のスペースも含む)。 ⑥所定の書式を遵守する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 3年次「演習」に基づき、小論文を提出して、合格したもの。 【授業計画並びに授業及び学習の方法】 第1回 オリエンテーション：授業に関する説明と課題設定 第2～9回 中間報告・ディスカッション 第10～14回 個別指導+グループワーク 第15回 前期のまとめ 第16～21回 中間報告・ディスカッション 第22～30回 卒業論文報告・学内ゼミとのジョイントゼミ報告			
教科書・参考書等 教科書指定なし。 それぞれのテーマに即して随時案内する。			
オフィスアワー 火曜日の三時限目。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文は私たちが社会に向けての最初の名刺となります。その作成過程を大切にしていきたいと思います。			

ナンバリングコード B4BSN-bcaE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 324163) 個別演習 (大杉) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4BSN	DP・提供部局 bcaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 大杉 奉代	関連授業科目	経営戦略論A、経営戦略論B、中小企業経営論	
	履修推奨科目	経営組織論A、経営組織論B、経営統計学、調査データ分析	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 卒業論文作成のための研究指導を行う。 履修者は毎回、研究の成果を発表し、さまざまな議論を通じて論文の質を高める。			
授業の目的 卒業論文作成に必要なとなる専門分野に関する応用的な知識や文章作成能力を身に着ける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営行動を理論を用いて説明できる。 ・経営戦略研究、中小企業経営に関する研究、またはその関連分野をテーマとした卒業論文を作成できる。 ・他者の研究成果に対する建設的な批判を行うことができる。 			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 研究の進捗状況、出席状況、討議への参加などにより総合的に判断する。 【卒業論文】 <ul style="list-style-type: none"> ・経営学に関連した研究テーマが選択されていること ・先行研究をふまえたうえで書かれていること ・所定の書式に従って作成されていること (書式については別途指示をおこなう) ・研究倫理に十分な配慮・対応をしていること ・分量は20,000字以上であること 			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 <ul style="list-style-type: none"> ・演習の取り組み状況、研究計画書により選考する。 【授業計画並びに授業及び学習の方法】 第1回：イントロダクション 第2～29回：卒業論文の進捗状況報告と質疑 第30回：卒業論文報告会			
演習生は、自身で研究の進捗状況を把握し、計画的に論文の執筆を行うことが求められる。 演習生は、2週に1回程度報告を行うことが求められる。 報告者は、研究の進捗状況などを示すレジュメを作成した上で、人数分コピー・配布し、プレゼンテーションを行うことが求められる。 報告を行わない者は、報告者に対し建設的な批判や助言をおこなうことが求められる。			
教科書・参考書等 随時各自に紹介する。			
オフィスアワー 特に定めない。事前にe-mailでアポイントをとること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 無断欠席厳禁 報告・連絡・相談を行うこと。			

ナンバリングコード B4GE0-abdE-20-Ep4 授業科目名 (時間割コード: 334177) 個別演習 (大賀) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木5/後期木5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4GE0	DP・提供部局 abdE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ep	単位数 4	
担当教員名 大賀 睦夫	関連授業科目	観光学概論、観光行政学	
	履修推奨科目	政治学概論	
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習・フィールドワーク			
授業の概要 前期は遍路にかかわる学習として、空海の宗教著作の輪読を中心にした授業を行う。後期は学生諸君が取り組んでいる卒論テーマについて学んだことを順番に発表する場として個別演習の時間を活用する。			
授業の目的 卒論指導が目的です。授業の前半部分は、卒論テーマ発見を主要課題にします。夏休みに資料収集、読み込み、レポート作成。そして後期は、そのレポートに加筆修正を加えつつ、授業時間に発表するというプロセスを繰り返し、卒論をしあげます。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. あるテーマに関する資料をほぼすべて集めることができる。2. 大量の資料を読みこなすことができる。3. 自分の考えを長い文章で表現することができる。			
成績評価の方法と基準 ・ 個別演習単位認定方法 ゼミにおける口頭発表 (50%)、レポート (50%) ・ 卒業論文の作成要領と単位認定方針 年度前半はテーマ探しをします。夏休み前にテーマを決定し、夏休み中に資料収集、資料の読み込みをします。後期は、各自の研究の進捗状況を授業時間中に発表します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 平成30年度個別演習選考基準 現代型ツーリズムへの関心度。熱意。 第1回～15回 「空海コレクション」を読み、討論し、レポートを作成する。 第16回～30回 卒論の進捗状況を報告し、批判を受けて修正し、その過程を繰り返して卒業論文を作成する。			
教科書・参考書等 『空海コレクション1』ちくま学芸文庫 『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 いずれも貸与するので購入の必要はありません。			
オフィスアワー 木 6			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業に能動的に参加することが求められます。ゼミは学んだことを発表する場と心得てください。			

ナンバリングコード B4SCL-bceE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 334178) 個別演習 (齊藤) Special Seminar 自然と人間	科目区分 専門教育科目	時間割 前期金5/後期金5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4SCL	DP・提供部局 bceE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 齊藤 和也	関連授業科目	人間論、ヨーロッパ思想史	
	履修推奨科目	人間論、ヨーロッパ思想史	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 各自で卒業論文のテーマを設定し、それに関する資料や文献を収集して、夏休み前までにノートを作成し、夏休み明けに卒業論文の草稿を発表する。12月下旬に下書きを完成させる。			
授業の目的 各自が設定したテーマに関する文献や資料を収集し、基本文献を熟読して卒業論文作成のために必要となる知識を蓄積し、これらの材料を用いて構成のしっかりした文章を作成することを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
設定したテーマの研究に必要な文献や資料を探索し収集することができる。 設定したテーマの研究に必要な基本知識を獲得することができる。 構成のしっかりした長い文章を作成することができる。			
成績評価の方法と基準 ・ 個別演習 演習への参加 (発表、討論)、レポート、卒業論文の作成過程などを総合的に評価する。 (演習への参加50%、レポート25%、卒論作成過程の努力25%) ・ 卒業論文 卒業論文の作成にあたっては、テーマに関連した資料を分析し文献を精読することを基本とする。優秀な卒業論文として認定されるには、1) 独自の視点をもって問題に切り込んでいること、2) その切り口から関連文献や資料を的確に分析・評価していること、3) 自分の主張を証明するにふさわしい構成になっていることが求められる。字数は2万字程度が目安である。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・ 選考基準 「演習」の単位を修得していること、あるいは修得する見込みがあること。 ・ 授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回 本年度の授業内容の説明 第2～4回 演習レポートの検討 第5～6回 卒業テーマの発表 第7～9回 卒業テーマの文献探索結果の発表 第10～15回 卒業テーマに関する文献読解結果の発表 夏休み集中研究 第16～18回 夏休み集中研究の成果の発表 第19～21回 論文の構想の発表と検討 第22～24回 論文の構成の研究 第25～29回 卒業論文の個人面談 第30回 卒業論文作成過程の反省 【自学自習について】 自分から進んでテーマに取り組み、文献や資料を地道にまとめていかないと、論文を書き始めることができません。自分のテーマに関する研究発表が主になるので、週の或る時間帯を卒論研究のために空ける必要があります。特に暑さで怠けがちになる夏休みにはできるだけノートを蓄積するよう心がけましょう。			
教科書・参考書等 各自の研究テーマに応じて、授業でその都度提示する。			
オフィスアワー 木曜 14:40-15:30 : 齊藤研究室 (経済学部7号館2階)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 最近では就活で時間を取られる人が増えています。特に前期は、余裕があるとは思わずに、時間を惜しんで読書に努めてください。			

ナンバリングコード B4SCL-bacE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 334179) 個別演習 (高橋(明)) Special Seminar 台湾の社会と文化 Taiwanese Society and Culture	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期金2	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4SCL	DP・提供部局 bacE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 高橋 明郎	関連授業科目	アジア文化論、中国文化論	
	履修推奨科目	外国語演習 (中国語)	
学習時間 授業時間 90分X15回+予習時間+現地研修約1週間			
授業の概要 「台湾人」は原住民、漢民族、日本人、と統治者が交代してきたため、中国語圏でも中華人民共和国とは異なる独特の価値観を持っています。日本と近代以降特に密接な関係にあった台湾について、日本人の理解は十分とは言えません。2014年は、春に「太陽花運動」で議会が学生に占拠されたり、暮れの統一地方選挙で与党が大惨敗をして、さらに今年1月の総統選挙で政権交代が起こり国民党主席が辞任するなどする民主化以降社会の状況も目まぐるしく変化しています。更に、多種類の言語と文化・宗教が混在して、様々な顔を持っています。このゼミでは書籍、論文の輪読や現地見学を足場に、幾つかの視点から、台湾の現状を分析します。			
授業の目的 台湾に関する卒業論文制作の基礎として、資料の收拾法、批判的な読み方、実地での観察結果をレポートにまとめることなどの実際の手順を身に着ける。(DPの「知識・理解」に対応) 中国語・英文資料も利用して台湾の現状について理解する。(DPの「言語運用能力」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1資料を読みレジュメにまとめて発表することができる 2現地で資料を集めたり、現状観察の結果を文書化することができる。			
成績評価の方法と基準 演習での分担作業や発表(40%) 現地調査の準備や、現地での行動(20%) 現地見学・調査のまとめレポートと口頭発表(40%) なお、出席は当然なので減点基準にしかありません。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・選考基準 台湾や中華文化圏に興味があり、自然・風景・街を観察するのが好きな人向きです。他のメンバーとコミュニケーションが支障なくとれることも必要です。 台湾での見学・調査を含むので原則中国語を履修してることが望ましい。ただしコミュニケーション能力に自信があるものは未履修者でも差しつかえありません。 通常11月頃に実施する台湾現地研修は、3、4年次とも必須。パスポート、渡航資金を秋口までに準備することが必要です。また身体的・宗教的理由で極端に食べられない人が多い人は向いていません。なお中国語圏に限らず長期の留学を3、4年次に計画している人は、予め選考時に申し出てください。 ・授業計画並びに授業及び学習の方法 第1学期 卒業論文のテーマの絞り込みと口頭で発表、それについての討議を行う。6月30日奈良県である台湾学会を必ず聴講する。(3年次必須、4年次は希望者のみ) 第2学期 現地見学調査の準備、各自テーマの設定、帰国後の報告作成、口頭発表。 授業準備として、自分の発表の回でない場合も、発表内容に関連する下読みをして、討議に備えてください。			
教科書・参考書等 教科書：革命のつくり方 台湾ひまわり運動——対抗運動の創造性、インスプリクト 2373円 参考書：日本と台湾 加瀬英明 祥伝社新書867円 など			
オフィスアワー 前期 金曜2時間目 研究室 後期 月曜5時間目 研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ・平成30年度個別演習選考基準 演習受講者は基本的に受け入れます。他の個別演習と並行して受講を希望する者は、中国語を学習していることが必須です。選考は面接によります。 ・平成30年度個別演習単位認定方法 秋の現地調査にいたる準備と、それを卒業研究に活かしているかで判断します。4年次現地調査も必須です。 ・平成30年度卒業論文の作成要領と単位認定方針 台湾に関することで研究として成立しうるものであれば基本的にそのテーマを認めます。中国語履修者は中国語の、未履修者は英語の文献を少なくとも1本は利用することを求めます。日本語で20000字以上。なお中国語を母語とするものや特別履修プログラム参加者は中国語で提出することも認めます。(中国語の場合10000字以上) 秋の台北研修は必須です。			

ナンバリングコード B4SCL-abcE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 334185) 個別演習 (水野) Special Seminar 地域への国際観光振興	科目区分 専門教育科目	時間割 前期金2/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4SCL	DP・提供部局 abcE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 水野 康一	関連授業科目 文化論, 観光英語	観光政策論, 観光行政学, 観光文化論, 日本文化論, 観光英語	
	履修推奨科目	観光学概論, 観光地理学, 異文化間コミュニケーション論, 外国語演習, 香川の観光	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 本演習では、世界および地域における異文化問題、国際観光（インバウンド観光客招致）について取り組むべき課題を見つけ、調査、実践、報告および討論を行う。3年次の演習に引き続き、個別演習では各自の課題研究についての成果を演習内で報告し、最終的に卒業論文としてまとめる。			
授業の目的 地域社会システム学科の主要な研究テーマ（観光、地域活性化、国際文化）を包括し、語学（英語）も含めこれまでに学んできたことを実践的に応用することを目的としている。外国人観光客への観光地PR、国際観光振興のためのマーケティング、英語による観光ガイドや日本文化紹介など、ゼミ生が各自の関心に基づき研究課題に取り組む。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 世界および地域における異文化問題についての理解し、課題解決のためのスキルを身につけている。 2) インバウンド観光振興についての問題探求能力を身につけ、解決策を提案できる。 3) 上記の目標に必要な自己表現と他者理解のためのコミュニケーション能力を身につけている。 4) 客観的かつ公平な議論ができ、説得力ある論説が書ける。			
成績評価の方法と基準 ・ 個別演習 演習への参加態度、発表、討論および卒業論文にかんする研究活動を総合的に評価する。 ・ 卒業論文 (20,000字以上) (1) 演習および個別演習の研究活動が反映されたものであること。 (2) 学術的、社会的な貢献度、および独創性と創造性の観点から評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・ 選考基準 原則として担当教員の演習を授業していること。 ・ 授業計画並びに授業および学習の方法 前期15回 各自の研究テーマの探求と設定、資料講読、討論 夏休み フィールドワークおよび調査 後期15回 卒業研究についてのプレゼンテーション、討論 2～3週間に1回程度ゼミでの発表を義務づける。自ら作成した研究計画をもとに調査研究を進めること。研究内容についての個別の相談は担当教員がオフィスアワーに対応するので、早めに申し出ること。			
教科書・参考書等 随時指定する。			
オフィスアワー 木曜3校時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 卒業論文は、日本語の場合20,000字以上。かつ、ゼミにおける各人の研究活動を反映したものであること。			

ナンバリングコード B4GE0-cebE-20-Ef4 授業科目名 (時間割コード: 334180) 個別演習 (原) Special Seminar 地域活性化アクションリサーチ	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4GE0	DP・提供部局 cebE	対象学生・特定プログラムとの対応20
	授業形態 Ef	単位数 4	
担当教員名 原 直行	関連授業科目	エコソリズム論	
	履修推奨科目	エコソリズム論	
学習時間 授業90分×25回程度＋フィールドワーク＋自学自習			
授業の概要 教室での学修とフィールドでの実践により、地域活性化につながる地域振興策を企画・実践する。(このような手法をアクションリサーチという) 県庁・市役所・町役場、企業、農協・漁協、NPO、住民とともに活動する。 社会が大学教育に強く求めているチャレンジ精神、課題探求・解決力が身につくが、そのためには行動力、思考力、コミュニケーション力が要求される。			
授業の目的 地域活性化につながる地域振興策を企画・実践することにより、授業終了時には以下の到達目標の達成を通じて、地域に愛着を持ち自信をもって社会に出ることができる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. チャレンジ精神が身につく。 2. 課題探求・解決力が身につく。 3. コミュニケーション力が身につく。 4. 能動的な学習をもたらす主体的な学びができる。			
成績評価の方法と基準 ・個別演習 授業およびフィールドワークへの参加態度(積極性など)・参加内容(取組内容)、各種報告会での発表内容、卒論等により総合的に判断する。 ・卒業論文の作成要領と単位認定方針 演習での課題を卒論にする。20,000字程度が目安だが、量より質を重視する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ・選考基準 演習でのレポートおよび取組姿勢によって選考する。 ・授業計画並びに授業及び学習の方法 1年間かけて、教室での学修とフィールドでの実践との融合をはかる。			
第1回 研究史の整理と課題設定① 第2回 研究史の整理と課題設定② 第3回 研究史の整理と課題設定③ 第4回 研究史の整理と課題設定④ 第5回 研究史の整理と課題設定⑤ 第6回 第1次フィールド調査報告① 第7回 第1次フィールド調査報告② 第8回 第1次フィールド調査報告③ 第9回 第1次フィールド調査報告④ 第10回 第1次フィールド調査報告⑤ 第11回 第2次フィールド調査報告① 第12回 第2次フィールド調査報告② 第13回 第2次フィールド調査報告③ 第14回 第2次フィールド調査報告④ 第15回 第2次フィールド調査報告⑤ 第16回 中間報告① 第17回 中間報告② 第18回 中間報告③ 第19回 中間報告④ 第20回 中間報告⑤ 第21回 第3次フィールド調査報告① 第22回 第3次フィールド調査報告② 第23回 第3次フィールド調査報告③ 第24回 第3次フィールド調査報告④ 第25回 第3次フィールド調査報告⑤ 第26回 最終報告① 第27回 最終報告② 第28回 最終報告③ 第29回 最終報告④ 第30回 最終報告⑤			

<自学自習>

フィールドに関する資料収集・分析を行い、当該フィールドについての理解を深める。

教科書・参考書等

授業時に指定する。

オフィスアワー

木曜3限

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

卒論作成に向けて「書く」技術にこだわる。受講生は書くことに慣れる必要がある。

ナンバリングコード B4GE0-cbeE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 33195) 個別演習 (原・金) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期金2	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4GE0	DP・提供部局 cbeE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 原 直行, 金 徳謙	関連授業科目	(特) 地域調査法	
	履修推奨科目	(特) 地域調査法	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 個別演習では「地域」を調査してまとめることを実践的に学びます。 そのため、演習で学んだ調査法をさらにレベルアップし、実践的に学びます。 そのため、 1) 関連する文献を読みます。 2) 実践的に調査法を学びます。 実際にフィールドワークを行いデータを取得しGISによる分析方法を実践的に身につけます。			
授業の目的 ゼミでは観光学をサイエンスとして位置付けし、学びます。つまり、調査や分析したことが再現できることを前提に学びます。そのため、(観光) 地域の特徴および形成過程を定量的に調査することを、実践的に学びます。これらの学習により、(観光) 地域を対象とする調査能力および調査の結果をまとめる能力を身につけることができます。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
デジタルマップづくりができる。 フィールドワークなどによりデータを取得し、そのデータをデジタル化することができる。 GISを用いた地域に関する調査分析ができる。 調査内容を文書(報告書)にまとめることができる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 1. 調査法の習得程度 2. ゼミの出席状況および取組の積極性 3. 調査報告書の完成度 上記3項目で総合評価します。 【卒業論文】 ゼミで学んだ調査法を用いて調査分析をし、執筆すること。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 ・演習における成果報告書が完結できていること。 ・学外調査があるため、必ず学生教育研究災害保険に加入すること。 ・調査法の学習やフィールドワークに優先的に時間を割り当てることができ、自主的かつ積極的に取り組むことができること。 ・選考に当たって面接をおこないます。 面接は、上記条件の確認に加え、ゼミで調査してみたいことおよび将来希望を関連づけて話してもらいます。両者の関連性(実現可能性)と希望者の積極性を判定基準とします。 【演習計画】 第01回目: ガイダンス 第02回目～第04回目: 実践的デジタルマップづくり(上級) 第05回目～第08回目: GIS応用Ⅰ(地域分析応用) 第09回目～第13回目: GIS応用Ⅱ(地域分析実践) 第14回目～第19回目: GIS応用Ⅲ(行動分析) 第20回目～第25回目: GIS応用Ⅳ(アンケート調査の応用) 第26回目～第30回目: 文献講読および論文作成 【自習方法】 調査法の基本が理解できるまで、繰り返し練習する。 とくに、GISによる分析には復習が欠かせません。復習時間には個人差がありますが、ゼミ時間分程度の復習は欠かせません。			
教科書・参考書等 参考図書: 『観光地域調査法』金徳謙著、美巧社、2,500円(税別)、ISBN: 978-4-86387-075-8 その他、授業中、随時指定する			
オフィスアワー 火曜4時限。その他にも時間が許す限り対応しますが、事前にメール等でアポイントをとってください。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 調査法の習得には努力が必要ですが、得るものも大きいでしょう。 努力を惜しまず、調査法の習得にチャレンジしてください。			

ナンバリングコード B4SCL-cbaE-20-Ef4 授業科目名 (時間割コード: 334191) 個別演習 (園部) Special Seminar 卒業論文執筆ゼミナール	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4SCL	DP・提供部局 cbaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ef	単位数 4	
担当教員名 園部 裕子	関連授業科目	ヨーロッパ社会論、現代フランス研究、その他ヨーロッパ、社会学関連の講義および外国語	
	履修推奨科目	ヨーロッパ社会論、現代フランス研究	
学習時間 前期は卒業論文のテーマを絞り込み、報告する。必要に応じて文献購読を行い、執筆方法の指導を行う。 後期は自学自習、夏休み中の調査から執筆した卒業論文の草案を定期的に報告し、議論する形式となる。			
授業の概要 卒業論文の執筆に向けた指導を行う。 グローバル化が現代社会においてもたらず課題について、社会的に考察し、調査し、行動し、表現する能力を養う。「常識」を疑い、アタマを解きほぐす作業を続ける。 【主要テーマ: 国民国家とポストコロニアリズム、移民・女性・マイノリティの地位、異文化理解・多文化社会、社会的格差と市民権、ジェンダーと開発など】			
授業の目的 卒業論文の執筆に必要な専門分野の知識習得および、論理的な文章作成能力を身につける。 卒業論文を完成させる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
「常識」を疑い、「他者の視点」から社会現象を考察し、論文にまとめられるようになる。 卒業論文を執筆し、完成させる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 授業での報告、討論への参加・貢献度、卒業論文への取り組みのプロセスを総合して認定する。 10月初旬に卒業論文の構想発表を行う (個別演習の単位認定に必須とする)。 【平成30年度卒業論文の作成要領と単位認定方針】 ・上記の【主要テーマ】を参照に、自分の問題意識に沿って課題を設定し、調査を行って執筆する。 ・独自の問題意識を持っているか、自分で調べた資料をもとに、論理的に文章を展開できているかどうかを重視する。 ・オリジナルな視点をもっているかどうか大切である。 ・文献によるだけではなく、★必ず何らかのかたちで現地調査を行うこと★。 ・現地調査は、紛争、内戦その他で現地入りが困難な場合は、当該事情に詳しい国内の人物や研究者への聞き取り、国内の関連施設や資料館での情報・資料収集などをもって代えても良い。 ・文献・論文等は、20点以上を使用すること。 ・書式は基本的に下記の参考書によるが、適宜、指示する。 ・文字数20,000字以上とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【選考基準】 ・ヨーロッパ社会論、現代フランス研究 どちらかまたは両方を履修しているか、これから必ず履修すること。 ・卒業論文のテーマ (ひとつに絞りに絞れない場合は3つ程度までの案) を設定し、概要をまとめて持参すること。 ・成績履修状況についての資料を持参すること。 ・卒業論文執筆についての積極性を示し、テーマへの自分なりの動機と関心を説明できること。			

【授業計画並びに授業及び学習の方法】

前期：

第1回：設定したテーマに沿って、文献リストおよび、Qリストに基づく構成案を持参すること。

第2回～：

4・5月

- ・文献講読にもとづいた構成の修正案を報告。調査計画を立てる。
- ・論文の構成と執筆方法について、参考書を用いて把握する。

●テーマが絞り込めない場合

- ・4月中に随時、テーマを絞り込むための議論の回をもうける。
- ・5月中には必ず決めること。

6・7月：現地調査の準備

夏期休暇中：文献を読み進める。現地調査を行う。

後期：

10月初旬に構想【タイトル+章立て+問題設定】発表（この発表は、個別演習の単位認定に必須とする）。日程は追って決定する。

●執筆を進める。

●11月に執筆状況を報告し、他の参加者からコメントをもらう。

●2018年12月6日（木）までに、最終原稿を提出すること。

●最終原稿を教員がチェックし、コメントを付けて年内に返却する。それに基づいて修正する。

●年明けに完成原稿を提出し、教員が簡単にチェックした後、提出となる。

教科書・参考書等

教科書【1】浜田麻里ほか著、1997『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版

【2】滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会編、2015『フィールドワーク心得帖 新版』サンライズ出版

オフィスアワー

講義中に指示する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

スケジュールに沿って準備・調査・執筆を進めること。

無断欠席、遅刻はしないなどマナーを守り、お互いを尊重しつつ研究する姿勢を身につけましょう。

ナンバリングコード B4SCL-cbaE-20-Eg4 授業科目名 (時間割コード: 334193) 個別演習(金澤) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期月5/後期月5	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4SCL	DP・提供部局 cbaE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Eg	単位数 4	
担当教員名 金澤 忠信	関連授業科目	ヨーロッパ文化論、比較近代化論	
	履修推奨科目	外国語演習、外国語会話	
学習時間 講義90分 × 15回 × 2 (前期・後期) + 自学自習			
授業の概要 前期は各々が研究テーマと研究方法を決め、発表し、それについて全員で議論する。場合によっては他ゼミと交流しながら、テーマと方向性をしっかり定める。自分たちで選んだテキストを輪読し、正確な読解力を身につけるとともに、卒論執筆のために必要ないし有用ないくつかの方法論を学ぶ。後期は論文の執筆を進め、途中経過を報告しながら、全員で議論を重ねる。			
授業の目的 ゼミ形式の授業で、自分の考えを、適切や言葉、適切な仕方で表現することができるようになる。何度か発表・議論を繰り返すなかで、相手に自分の考えをきちんと伝え、理解してもらう。学位論文にふさわしいテーマ、方法論、構成、文体をもって論文を執筆する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
発表と討議を通じて総合的な思考力とコミュニケーション能力を身につける。文献資料を正確に読むことができる。芸術作品を鑑賞・批評する能力を養う。適切な表現、適切な構成で、比較的長い文章を書くことができる。学生どうしで学習し、研究・調査の仕方を教え合う。問題設定に見合った方法論を適用することができる。			
成績評価の方法と基準 【個別演習】 授業への積極的な参加・貢献（発表、議論）[60%]、卒論制作 [40%] により、総合的に評価する。 【卒業論文】 本文20,000字以上。テーマはなんらかのかたちでヨーロッパの文化（学問・芸術・慣習など）に関わるものにする。参考文献・参照資料の数および選定も評価の対象とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 演習の成績によって判断する。他の演習修了者については、演習の成績と卒論のテーマを考慮したうえで、面接によって判断する。 【授業計画】 [前期] (1) イントロダクション（授業の概要、授業の進め方、単位の取り方など） (2)~(4) 研究テーマ・方法の選択 (5)~(10) テキストの輪読および現地調査 (11)~(14) 個別の発表および討議 (15) まとめ [後期] 後期も前期と同様のスケジュール。しかし、前期より高度かつ実践的な授業。 【授業及び学習の方法】 授業中はメモを取りながら積極的に参加する。要約の課題を継続してこなす。授業時に紹介される参考文献などは事前に読んでおく。			
教科書・参考書等 マックス・ヴェーバー、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、大塚久雄訳、岩波文庫、1989年、800円＋税。 ※上記以外の参考文献については授業の中で随時指示する。			
オフィスアワー 木曜4時限目。幸町南キャンパス3号館2階、金澤研究室。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 美術館や芸術祭に足を運び、実際に目で見て、場合によっては触れて、作品を鑑賞し、それについて授業で発表します。授業で発表したり議論したりしながら、卒論を仕上げます。			

ナンバリングコード B4SCL-bcxE-20-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 334194) 個別演習(山本) Special Seminar	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4SCL	DP・提供部局 bcxE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 山本 裕	関連授業科目	日本社会経済史、経済史入門、経営史、ヨーロッパ社会経済史	
	履修推奨科目	日本社会経済史、経済史入門、経営史、現代韓国・朝鮮研究、アジア経済論、ヨーロッパ社会経済史	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 本演習では、近現代日本社会経済史、近現代日中経済関係史、近現代東アジア関係史について研究を行い、卒業論文を完成させます。 演習参加者は個別の研究テーマについて研究を進めていきますが、同時に、他の演習参加者の研究テーマについても我がことのように捉え、議論することを求めます。また、学内の他の演習受講者、本学にとどまらない他大学の日本経済史演習受講者とも研究交流を行い、議論を積み重ねて、受講者各自の学術面にとどまらない成長を期することとします。 また、今年度は、経済学部が県下の高校と実施している「高大連携・共同の学び講座」に全面的に参加します。演習受講者は、「地域社会経済の近現代史的考察」とする論題について、高校生を相手に、演習受講者自らが調べた内容について、高校生の前で発表し、高校生と共に、歴史的観点から地域社会経済の諸問題を議論していくことを求めています。			
授業の目的 「授業の概要」欄で述べた如く、近現代日本社会経済史、近現代日中経済関係史、近現代東アジア関係史について研究を行う事を目的とします。 上記目的を達成する上で、受講者には、19世紀後半～20世紀中葉までの時代を中心に、日本に軸足を置いて、社会経済の歴史を広義に捉えた上で研究を行うことを要求します。 何故ならば、日本経済の歴史の変容を問うのであれば、国民経済・経済政策等のマクロ的領域にとどまらず、産業・企業といったミクロ的領域、近現代日本経済が選択した「積極的」な対外経済進出(＝アジアの中の日本経済・日本企業)の歴史の変容をも視野に入れて考察する必要があります。また、日本社会の変容を問うのであれば、社会を構成する諸要素(外交や軍事を含む広義の政治、文化、教育、「生ある全てのもの」)の歴史の変容をも視野に入れて考察する必要があります。このような広い問題関心を有した上で、個別の研究テーマを選択して下さい。 本演習を受講することで、広い視野から日本経済・社会の歴史の変容を考察する能力が身に付き、広い問題関心を有した上で個別の研究テーマを選択することが可能となり、他の演習参加者の研究テーマについても自らのことのように捉え、議論出来るようになるでしょう。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本経済・社会の歴史の変容について、広い視野から考察できるようになる。 2) 広い問題関心を有した上で、個別の研究テーマを選択できるようになる。 3) 他の演習参加者の研究テーマについても自らのことのように捉え、議論できるようになる。			
成績評価の方法と基準 【平成30(2018)年度個別演習単位認定方法】 毎回の個別演習参加状況と取り組み、前期・夏季合宿・後期における報告内容等を踏まえて、総合的観点から評価します。 【平成30(2018)年度卒業論文の作成要領と単位認定方針】 執筆する卒業論文については、文字数の上限・下限は設定しません。ただし、「課題と視角」、「先行研究整理」、「本論」を兼ね備え、かつ、社史や自治体史の引き写しにとどまらない、これまでの先行研究に対してわずかであっても、新しい知見を盛り込んだ、オリジナリティのある卒業論文を執筆して下さい。「個別演習」においては、最低3回の卒業論文に関する報告(前期・夏合宿・後期)を行い、修正・再調査・再検討を経て卒業論文を作成していきます。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【選考基準】 前年に「演習」を受講せず、新たに「個別演習」を受講する場合は、卒業論文の研究計画書の提出を求めます(A4用紙2枚程度)。「研究題目」、「研究テーマ選択理由」、「選択した研究テーマに関する先行研究リスト」、「先行研究リストに記した文献(1点以上)に関する簡単な内容紹介と、同文献で解明された研究内容」を記して下さい。可能であれば、「研究を行う上で用いられると思われる資料(『三菱商事社史』等の社史、『香川県史』等の自治体史、統計資料等)」も記して下さい。場合によっては研究計画書で記した研究領域に関する知識等について、口頭試問を行います。その際には、成績表のコピー提出を求めます(成績表を閲覧することで、志望者各自の3年生までの講義への取り組み等を質問します。なお、悪い成績だからといって、それだけで演習履修・受講を認めないということはありません)。また、上記計画書の内容に関する質疑応答も行います。			

【夏季合宿等】2018年度は、夏季合宿（2泊3日。9月開催予定）と、慶應義塾大学文学部前田廉孝研究会（ゼミナール）との研究交流会（於 箱根。2泊3日。9月開催予定）、立命館大学経済学部細谷亨ゼミナールとの、冬季研究交流会（香川大学にて12月開催予定）を行います。原則として、合宿・研究交流会には必ず参加することを要求します（諸事情で参加が不可能な場合は、事前に相談すること）。9月の夏季合宿では、卒業論文の中間報告をしてもらいます。夏合宿の開催地は4月以降に演習受講者・個別演習受講者の意見を徴した上で決定しますが、一定程度の交通費と滞在費を準備して下さい。また、神奈川県箱根で開催される前田廉孝研究会との研究交流会についても、交通費と滞在費を準備して下さい。

【高大連携・共同の学び講座】香川県下の高校生を相手に、「地域社会経済の近現代史的考察」という論題の下、演習受講者には高校生を対象とした自分たちの調べた内容について（どのような内容にするかは、演習受講者が主体的に選択します。【講義計画】に記した輪読文献、『香川県の百年』『日本経済史—近世から現代まで』の読解を通じて調べる内容を決めてください）高校生の前で発表し、高校生と共に、歴史的観点から地域社会経済の諸問題を議論していきます。

【講義計画】本演習を受講する上で、後の時限の「演習」も受講することを要求します。「演習」・「個別演習」担当者として、両演習を2つの学年の受講者が連続して受講し質疑応答を繰り返すことに高い教育効果が認められると確信するが故に、連続受講を要求します。進級・卒業等の観点から「演習」に参加できない場合は個別に相談しますが、基本的には「個別演習」・「演習」の連続受講しか認めません。

以下のスケジュールで演習を行う予定ですが、受講者の理解や研究の進展等により、変更する可能性があります。

第1回：ガイダンス

第2～第7回：武田晴人編『新版 日本経済の事件簿』輪読と質疑応答

第8～第14回：卒業論文第1回報告に関する質疑応答

第15回：前期のまとめ（各自が夏休みに従事する研究領域の確認。夏合宿で卒業論文第2回報告を実施）

第16～第21回：『香川県の百年』『日本経済史—近世から現代まで』の輪読と質疑応答

第22～第24回：立命館大学との冬季研究交流会に向けた準備作業の報告

第25～第30回：卒業論文第3回報告と報告内容に関する質疑応答

テキストの輪読については、リポーター以外も精読して、論点を事前に考えておいて下さい。

卒業論文報告においては、リポーターが卒業論文を執筆する上での根幹文献を他の受講者にも事前に配布し、根幹文献のレポートと併せて各自の卒業論文の構想を報告します。聴講者は事前に指定された各文献を精読し、論点を考えた上で参加します。

教科書・参考書等

【教科書】武田晴人『新版 日本経済の事件簿』（日本経済評論社、2009年、3,000円＋TAX）、伊丹正博・細川滋・徳山久夫『香川県の百年』（山川出版社、2003年、2,300円＋TAX）、沢井実・谷本雅之『日本経済史—近世から現代まで』（有斐閣、2016年、3700円＋TAX）。

【参考書】三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧 補訂版』（東京大学出版会、2010年、2800円＋TAX）。

ただし、教科書は教員がまとめて購入し頒布（販売）することとしますので事前に用意しなくて大丈夫です（『新版 日本経済の事件簿』は定価の2割引き＋TAXで、『日本経済史—近世から現代まで』は定価の1割引き＋TAXで頒布できます）。参考書は、必要に応じて購入をお願いする可能性があります。購入しないで済む可能性もあります。

オフィスアワー

木曜日6・7時限。また、メールにて事前連絡してもらえれば、随時対応します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

執筆する卒業論文については、文字数の上限・下限は設定しません。ただし、「課題と視角」、「先行研究整理」、「本論」を兼ね備え、かつ、社史や自治体史の引き写しにとどまらない、これまでの先行研究に対してわずかであっても、新しい知見を盛り込んだ、オリジナリティのある卒業論文を執筆して下さい。「個別演習」においても最低3回の卒業論文に関する報告（前期・夏合宿・後期）を行い、修正・再調査・再検討を経て卒業論文を完成させます。

ナンバリングコード B4GE0-cdeE-20-Ep4 授業科目名 (時間割コード: 334192) 個別演習(西成) Special Seminar まちづくり・デザイン研究	科目区分 専門教育科目	時間割 前期木4/後期木4	対象年次及び学科 4～経済学部
	水準・分野 B4GE0	DP・提供部局 cdeE	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ep	単位数 4	
担当教員名 西成 典久	関連授業科目	まちづくり論、瀬戸内地域活性化プロジェクト	
	履修推奨科目	まちづくり論、瀬戸内地域活性化プロジェクト	
学習時間 研究発表・作業等90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 衰退する地域には何が必要なのでしょうか、高齢過疎化は問題なのでしょうか。 これまで着実につくりあげられた人口拡大社会の仕組みを根本から見直し、環境・エネルギーや合意形成(政治)の問題に対応する新たな社会づくりが「まちづくり」に求められています。 本ゼミでは、「デザイン」の力でこれらの問題解決に取り組みます。ここでいう「デザイン」は、絵を描くような“デザイン”ではなく、「具体化する行為」を「デザイン」と呼んでいます。社会の仕組みが大きく変化する今だからこそ、新たな発想で地域に価値を生み出していく必要があります。これまでの常識を見直す「デザイン」的思考が必要なのです。 人も思考も創造的に、ゼミ活動も創造的にいきましょう。			
授業の目的 学生自身が自分の問題意識・興味関心を明確化し、主体的な学びを得ることが目的です。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
①研究の思考方法・やり方を習得する 重要なことは、自分自身の問題意識を明確化し、認識することです。			
②プロジェクトの運営能力を身につける 実社会で求められていることは何か、地域の問題を解決するために、複数人でプロジェクトを行う運営能力を身につけます。			
成績評価の方法と基準 ・個別演習 「研究」と「プロジェクト」への取り組み姿勢と成果。ゼミでの発言と主体性。 ・卒業論文 自身の問題意識から研究テーマを設定し、論理的に分析・考察できることが基準となる。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ≪選考基準≫ 選考基準は「やる気(本気で取り組めるか)」と「適性(興味や自主性)」です。 ゼミで取り組みたいこと、将来やりたいことなど、志望理由書を提出してもらいます。 地域での活動や学生プロジェクト等の経験がある学生を求めます。 ≪授業計画並びに授業及び学習の方法≫ 本ゼミでは、①個人研究と②プロジェクトが二本柱です。 ①個人研究 「まちづくり×○○」 この○○に各自の興味・関心を入れてください。 「研究」はすでに世の中で明らかになっていることを「学ぶ」のではなく、これまで明らかとされていなかった知見や事柄を「追及」していく、極めて創造的な思考方法です。各自の問題意識に従い、自分の知的関心を広げていってください。 昨年までの卒業論文タイトルをいくつか紹介します。 卒業論文 ・学生プロジェクトにおける組織づくりと人材育成に関する考察 ・瀬戸内国際芸術祭をきっかけとした地方移住者の価値観と働き方の実態 ・理想地区づくりによるコミュニティの主体意識形成に関する実践的研究 ・銭湯にみる高松の都市生活とその変遷に関する研究 ・公共空間における芸術・音楽を通じた文化政策に関する研究 ・倉敷美観地区における賑わい創出プロセス ・栗林公園作庭史にみる香川茶の発祥とその後の伝播 ・まちづくりにおけるゆるキャラのデザイン特性 ・森林を活用した医療・福祉行為に関する事例研究 など			

②プロジェクト (PBL)

ゼミでは学生自身が主体的に取り組めるプロジェクトを運営しています。

毎年、プロジェクト内容やテーマは少しずつ変わりますが、現段階では以下の内容を考えています。

・屋島山上ちようちんカフェ

ゼミメンバー全員で取り組むプロジェクトです。詳しくは以下のWebを参照のこと。

屋島山上ちようちんカフェ公式Webサイト <http://chouchincafe.wixsite.com/home>

・コミュニティデザイン

「コミュニティの主体づくり」(Community Empowerment) をテーマとして、県内各所のまちづくりプロジェクトに携わっています。代表的なプロジェクトは五郷地区 (<http://gogou.jp/>) です。その他のプロジェクトは研究室のWebを見てください。

・まいまいmapプロジェクト

丸亀町商店街から依頼を受け、まちなかループバスの利用促進策を考えています。

歴史的なものへの意識が低い高松を少しでも変えていくために、古い地図と今の地図を比べながら、まちの足跡を現代につなげるプロジェクトです。

・その他プロジェクト

空き家の再生や民泊経営、フットパスによる里づくりなど、その他のプロジェクトについても検討中。

教科書・参考書等

適宜紹介します。

オフィスアワー

研究室にて随時対応します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

演習で学んだ「研究のやり方」をもとに、正しくも面白い「研究」に取り組むことを期待しています。

「研究」と「プロジェクト」において、3年生を指導してください。